

語学研修プログラム（2023年度）（オンラインまたは海外渡航）

プログラム概要

国（都市名）	フィリピン（セブ）		カナダ（バンクーバー）
機関種別	語学学校		語学学校
機関名	GLC (Global Language Cebu)		CCEL (Canadian College of English Language)
実施時期（夏）	2023年8月20日～9月16日の うち1～4週間		2023年8月13日～9月11日（4週間）
実施時期（春）	2024年2月5日～3月15日の うち3週間または4週間		2024年2月18日～3月18日の うち2週間または4週間
実施形態	オンライン	海外渡航	海外渡航
内容	英語研修		英語研修
授業形態	マンツーマン レッスン	マンツーマン レッスン およびグループ レッスン	グループレッスン 1クラス平均12名
宿泊先	-	語学学校寮 (授業と 同建物)	ホームステイ
単位認定	あり（2単位）※ただし一定の条件を満たすこと		

プログラム参加者の声

春期語学研修・フィリピン（海外渡航型）

～留学を通して学んだこと～

フィリピンに留学して印象深かったことは、雄大な自然とフィリピンの人たちの優しい人間性でした。日々の授業の中で、こちらが拙い英語を話していても、最後まで黙って聞いてくれて、どれだけ間違った文法や発音をしても、「Nice try!」と褒めてくれるので、自信になりました。「単語だけでは伝わらないかもしれない」「正しい文章しか話してはいけない」などとは考えずに、どんどん思いついたことを口に出して試みるのが重要だと学びました。

（知的財産学科3年）

～今後留学を考えている学生へのアドバイス～

行く前は自分の英語に不安があり、初めての海外だったのでとても緊張していました。向こうの先生は、とても親切で、フィリピンでは、いろいろなことを経験できてとても楽しかったです。今回の留学は僕にとって一生の思い出になりました。大学は4年間しかないので、出来ることは今やるのがおすすめです。もしも少しでも行きたいと思っている方や行こうか悩んでいる方がいれば、是非行ってください。行かなければ後悔すると思います。

(電子情報システム工学科2年)

春期語学研修・カナダ

～留学を通して学んだこと～

今回のこのプログラムではとりあえず英語を好きになることを目標として参加しました。苦手意識を持たないようにハードルを下げました。はじめは、間違っていたらどうしようなどネガティブな気持ちが強く自分から話すことができませんでしたが、間違っているでも話すことが大切だと気づき、とりあえず話し始めることができるようになりました。最初の3日間はホストファミリーの言っていることが全く聞き取れずコミュニケーションが取れずにしんどかったですが、徐々に慣れていき、大まか内容は聞き取れるようになりました。

(情報知能学科2年)

～今後留学を考えている学生へのアドバイス～

私は、はじめは現地の人との生活習慣の違いや日本との気候との違いですぐにホームシックになりましたが、そうなるでもとりあえず生活してみれば意外と慣れていき、そこでの生活がとても楽しいものとなります。ぜひあきらめずに頑張ってもらいたいと考えています。また、恥ずかしがっていて何も話しかけずにいるといつまでたっても話せるようにはならないので、目が合った人とでも話しかける努力をして場数を増やしていくこともとても大事ななと感じました。現地では日本のように敬語ではなく誰でも簡単に友達を作ることができるので、まずは一人にならずにたくさんの友達を増やしてみたいです。

(情報システム学科2年)

海外大学提供プログラム（2023年度）（海外渡航）

プログラム概要

国（都市名）	アメリカ（サンフランシスコ）	イギリス（オックスフォード）
機関種別	協定大学	大学
機関名	<u>サンフランシスコ州立大学</u>	<u>オックスフォード大学</u>
実施時期（夏）	2023年8月14日～9月8日の うち2～4週間	2023年8月6日～9月2日（2週間）
実施時期（春）	2024年2月19日～3月15日の うち2～4週間	2024年2月11日～3月2日（3週間）
内容	英語研修と文化体験	英語研修とPBL型学習
授業形態	グループレッスン	グループレッスンとオンラインマンツーマン （ハイブリッド型）
宿泊先	ホテル	ホームステイまたは大学寮
単位認定	あり（2単位）※ただし2週間プログラムは対象外。また一定の条件を満たすこと	

プログラム参加者の声

春期サンフランシスコ州立大学プログラム

～留学を通して学んだこと～

このプログラムで学んだ3つのことがあります。まず、コミュニケーションの重要性です。英語だけでなく、日常生活でのコミュニケーションに必要な単語や態度も学びました。次に、日本の治安の良さを実感しました。海外の治安の差に驚き、日本の安全性を再認識しました。最後に、英語に対する自信です。1か月もの間海外で過ごせたことで、「英語が話せない」という不安が解消され、自信を持つことができました。

（機械工学科3年男子）

～今後留学を考えている学生へのアドバイス～

留学を検討している方々へ、もし迷っているのであれば、絶対に行くべきです。このようなワクワクする経験は他になく、自分を変えるチャンスです。不安を超えるほど楽しいことが待っています。現地では積極的に人と話すことをお勧めします。オープンマインドで接すると、相手も同様に反応してくれます。この経験を繰り返すことで自信がつかます。また、異なる文化に触れることで、海外や日本の良いところに気づけます。

(空間デザイン学科2年男子)



春期オックスフォード大学プログラム

～留学を通して学んだこと～

今回のプログラムでは、英国の文化や建築物、芸術などを学ぶ機会がありました。オックスフォードの街で異なる国の人々と交流でき、クラスは少人数で先生方もコミュニケーションに気を配り、英語での会話を通じて語彙や文法が向上しました。自主性や行動力の重要性を感じ、海外の友人と観光したりランチに行ったりしました。しかし、他の日本人学生は日本人同士で行動し、英語を使わずに過ごし、衝撃を受けました。海外での経験は英語力向上だけでなく、積極的な行動も重要だと感じました。

(知的財産学科2年男子)

～今後留学を考えている学生へのアドバイス～

多くの方が2週間のプログラムを選ぶ傾向にある中、私は3週間のプログラムを選択しました。他の日本人留学生と離れ、一人で過ごす時間を大切にしました。その結果、多くのことを学ぶことができました。高い費用を払って海外へ行くなら、日本人とばかり過ごすのはもったいないと感じました。しかし、他の日本人留学生に常に付きまといられる状況もありました。だからこそ、期間を延ばし、一人で過ごす環境を作ることが良いと思います。積極的に話せば、たくさんの友人ができるでしょう。普段接する機会の少ない海外の友人とたくさん遊んでみてください。

(同上)



文化体験プログラム（2023年度）（海外渡航）

プログラム概要

国 (都市名)	台湾（台北）	韓国（大田広域市）	インドネシア（スラバヤ）
機関種別	協定大学		
機関名	<u>国立台湾科技大学</u>	<u>大田大学校</u>	<u>ウイドヤマンダラカトリック大学</u>
実施時期	2023年8月4日～9日 (6日間)	2023年8月10日～8月 29日(20日間)	2024年2月25日～3月3日 (8日間)
内容	文化体験とPBL体験	初級韓国語と文化体験	プロジェクト活動、 学生交流や文化施設見学
宿泊先	大学寮	大学寮	ホテル
単位認定	なし		

プログラム参加者の声

夏期台湾文化体験プログラム

～留学を通して学んだこと～

プログラムに参加して感じたことは台湾という国の温かさです。国立台湾科技大学の学生が受け入れをしてくれて台湾のことが何もわからない私たちに色々なことを教えてくれて連れて行ってくれました。この優しさを忘れずに次台湾の学生が来てくれた時には恩返しをしたいと思います。

(応用化学科4年男子)

～今後留学を考えている学生へのアドバイス～

もともとの英語力も大切ですが、コミュニケーションをとっている間に慣れてきてよりしゃべれるようになってきます。またプログラムに参加してより英語学習への意欲が出てきたので長期休みなどの短期留学に1度参加してみるのはいいい経験になると思います。

(生命工学科2年女子)



夏期韓国文化体験プログラム

韓国の雑貨やポスターを見て、将来的に自身も制作に携わりたいという目標があり、文化体験プログラムに参加しました。毎日の韓国語授業のクラスでは、最初にレベル別のクラス分けテストがあり、質問があればすぐに直接質問ができ会話力が伸びていることを実感する事ができました。同年代の韓国の学生とも交流を深めるイベントも多く、今後も韓国特有のデザインについて専攻分野を通して研究を深めたいと思います。

(システムデザイン工学科 2年)

韓国で20日間実際に寮生活をしてみて、旅行での数日間滞在では経験する事のできない困難もありましたが、どうやって解決するか現地で知り合った学生に相談する過程で、教科書通りではなく現地で使われている実際の会話体を学ぶことができました。また、基本的には寮でビュッフェスタイルの食事があり、辛い物が苦手な学生向けの食事もあり安心しました。初めての海外での生活での気づきを、今後の人生設計に活かしていきます。

(応用化学科 2年)



語学研修プログラム（2022年度）（オンラインまたは海外渡航）

プログラム概要

2022年度 夏期語学研修プログラム（オンライン実施）

国（都市名）	フィリピン（セブ）	カナダ（トロント、バンクーバー）
機関種別	語学学校	語学学校
機関名	NexusTALK（旧名称：NILS）	ILAC
実施時期	2022年8月22日～9月16日の うち1～4週間	2022年8月22日～2/3/4週間
内容	語学研修(英語)	語学研修(英語)
授業形態	講師とのマンツーマン (大阪工業大学の専用プログラム)	多国籍の学生とグループレッスン、 セルフスタディ
単位認定	あり（2単位）※ただし一定の条件を 満たすこと	あり（2単位）※ただし一定の条件を 満たすこと

2022年度 春期語学研修プログラム（オンラインまたは海外渡航）

国（都市名）	フィリピン（セブ）	カナダ（バンクーバー）
機関種別	語学学校	語学学校
機関名	GLC (Global Language Cebu)	CCEL (Canadian College of English Language)
実施時期	2023年2月13日～3月17日の うち2～4週間	2023年2月13日～3月17日のうち2～4週間
実施形態	オンライン 海外渡航	海外渡航
内容	語学研修(英語)	語学研修(英語)
授業形態	マンツーマン授業 マンツーマン 授業 およびグループ レッスン	グループレッスン 1クラス平均12名
単位認定	あり（2単位）※ただし一定の条件を 満たすこと	あり（2単位）※ただし一定の条件を 満たすこと

プログラム参加者の声

春期語学研修・フィリピン（海外渡航型）

～留学を通して学んだこと～

フィリピンでの1ヶ月間の語学留学は、私にとって非常に貴重な経験でした。語学学習だけでなく、異文化体験や自己成長にも繋がる素晴らしい機会でした。まず、フィリピンでの暮らし方に感銘を受けました。フィリピン人は常に笑顔で、温かく接してくれる人々ばかりで、自分もその雰囲気に触れることで、心が明るくなりました。また、現地の生活には慣れるまで苦労しましたが、自分で生活することで、自立心を養うことができました。語学学習については、フィリピン人の英語は非常に聞き取りやすく、話しやすいため、効率的に学ぶことができました。また、他国籍の人が多く、国籍や文化の違いを超えて、様々な人々と交流することで、自分の考え方も広げることができました。

（電気電子システム工学科2年）

～今後留学を考えている学生へのアドバイス～

留学は、自分自身にとって非常に貴重な経験です。留学する前には、不安や緊張があるかもしれませんが、現地での体験や出会いを通して、自分自身が成長することができます。留学をする際には、現地の文化や習慣に敬意を払い、自分自身が日本人であることを忘れずに過ごすことが大切です。また、現地での生活や語学学習に積極的に取り組むことが、留学生生活を充実させるために必要です。留学は、自分自身にとって非常に貴重な経験です。ぜひ、積極的に取り組んでみてください。

（電気電子システム工学科2年）

私は4年前から海外旅行や留学はいつかしたいとずっと思っていました。しかし勇気が出ず、ずっと行けずじまいでした。そんな中、新型コロナウイルスによって海外に行けなくなってしまい、とてもショックを受けました。「また」とか「いつか」とか期間を決めないといつまで経ってもそんな日は来ないし行きたくても行けなくなる日が来るかもしれない。あと一歩踏み出すかどうかはすべて自分次第なのだ痛感しました。留学を考えている人には挑戦することを恐れず、やりたいこと学生の間にとくさん実現してほしいです。

（建築学科2年）



春期語学研修・カナダ

～留学を通して学んだこと～

私は、1ヶ月間で多くのことを学ぶことができました。一番印象に残ったことは、バンクーバーにはあらゆる国の人がおり、多様な文化を形成していたということです。特にアジア系の人が多く、私も韓国人の友達がたくさんできてお互いに英語を研鑽することができました。また英語を勉強する上で発音が非常に大事なと感じました。自分が間違えた発音をしていたり発音の仕方を知らなかったりすると、リスニングの際に聞こえないということに気が付きました。よって英語を上達させる上で発音が重要であるのだと思いました。英語に毎日触れて話すことは、自分の考えを端的にまとめることや間違えていてもとにかく発言するという自身をつけることにつながると思います。これは就職活動や社会に出た時に重要になると感じました。

(データサイエンス学科2年)

～今後留学を考えている学生へのアドバイス～

私はプログラムに参加するときに迷いは無かったですが、迷っているなら絶対に参加を選ぶべきだと思います。飛び込んでしまえばどうにかなりますし、人生を生きていく上でとても貴重で重要な体験になると思います。自分を成長させたいと思っている人は参加をおすすめします。

(建築学科1年)

留学で一番大切なのは、とにかく動き回っていろんな人と話すということだと思います。これをすればするほど経験と知見が広がり、今までの見方や考え方が変わると思います。

(データサイエンス学科2年)



語学研修プログラム（2021年度）（オンライン）

プログラム概要

語学研修プログラム

国、都市	フィリピン セブ	オーストラリア メルボルン	カナダ トロント、バンクーバー
機関種別	語学学校	協定大学	語学学校
機関名	NexusTalk (旧名称：NILS)	<u>スインバン工科大学</u>	<u>ILAC</u>
実施時期 (夏)	2021年8月16日～9月 17日のうち、1～4週間	2021年8月16日～8月 27日(2週間)	実施なし
実施時期 (春)	2022年2月14日～3月 11日のうち、1～4週間	実施なし	2022年2月14日または15日 ～2/3/4週間
内容	語学研修(英語)	語学研修(英語) 学生交流	語学研修(英語)
単位認定	「海外語学研修」(2単位) ※ただし一定の条件を満たすこと		

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、すべてオンラインで実施しました。

活動内容・参加者の声

フィリピン（セブ）

機関名	NexusTalk
機関種別	語学学校
実施時期 (夏)	2021年8月16日～9月17日のうち、1～4週間
実施時期 (春)	2022年2月14日～3月11日のうち、1～4週間
参加人数	夏期31人、春期15人
参加費	25,500円～75,500円(1日の授業時間、週数により異なる) ⇒出席率により、大学から 支援金として参加費の最大50%をキャッシュバック

プログラム概要

セブにある語学学校（旧名称：NILS）での英語研修です。新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度からは大阪工業大学専用のオンラインプログラムとして実施しています。1日の授業時間（2時間または4時間）と週数は参加者自身が選択でき、授業は基本的に講師とのマンツーマン形式で提供されるため、自分のペースで学習を進めることができます。カリキュラムも鍛えたいポイントに応じて、カランメソッド（反復練習により英会話の瞬発力を鍛える学習法）、語彙、発音、スピーキング、自由会話、TOEIC対策から自由に選択可能です。

～1週間のスケジュール例（基本プラン）～

時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
14:00-14:50	Callan Method (カランメソッド)	休日	休日				
15:00-15:50	Callan Method (カランメソッド)						
16:00-16:50	Pronunciation (発音)	Pronunciation (発音)	Pronunciation (発音)	Pronunciation (発音)	Pronunciation (発音)		
17:00-17:50	Free Talking (自由会話)	Free Talking (自由会話)	Group Lesson (グループ授業)	Free Talking (自由会話)	Free Talking (自由会話)		

プログラム参加者の声

最初はうまくやっていたのか、本当に苦手が改善されるのか不安でしたが、先生方がとても優しく笑顔で接してくれたので、緊張することなく受講できました。マンツーマンレッスンなので授業時間いっぱい英語を学ぶことができ、間違った文法で話していると優しく訂正してもらえる点などが良かったです。

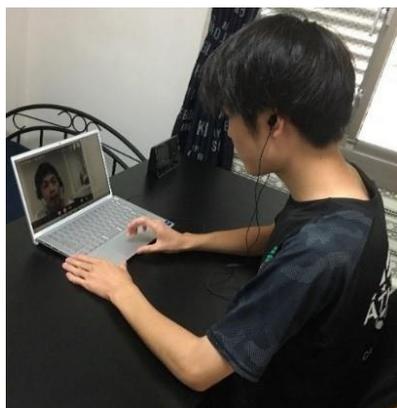
（建築学科1年）

参加してみると、言いたいことや質問したいことがあっても単語を知らないためうまく伝えられないことがありました。私はその都度辞書で調べ、英訳をメモするようにしていました。そのおかげか3週目には、つたないながらも英語での質問や、たわいもない世間話ができるようになりました。

（電気電子システム工学科3年）

1日4時間のレッスンを3週間続け、多くのことが身につきました。特に、考えていることを瞬発的に英語の文章にして伝える力が向上しました。初めは単語をつなげるだけの単純で文法が無茶苦茶な会話しかできなかったのが、日々講師の方と会話をする中で段々と細かく正確に伝えられるようになり、大きな達成感が得られました。

（情報メディア学科2年）



オーストラリア（メルボルン）

機関名	スインバン工科大学
機関種別	協定大学
実施時期	2021年8月16日～8月27日（2週間）
参加人数	8人
参加費	約61,000円 ⇒出席率により、大学から支援金として参加費の最大50%をキャッシュバック

プログラム概要

ビクトリア州メルボルンにある、協定校のスインバン工科大学が提供するプログラムです。新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度からは他大学と合同参加のオンラインプログラムとして実施しています。英語学習（会話中心）に加えて、キャンパスツアー、バーチャル市内観光、講義・ワークショップ、スインバン工科大学の学生との交流会などが含まれます。スケジュールの詳細は[こちら](#)

プログラム参加者の声

英語を話せるようになりたいとは思っていたものの、これまでは話す機会がなく自信がありませんでした。そこで、この研修を知った時にぜひ参加しようと思いました。参加したことで、他大学や海外に友人ができました。ネイティブの方々は私のつたない英語でも尊重し、「英語を話すことを恐れてはいけない」など、様々な助言をくれました。おかげで英語のスキルに自信ができました。

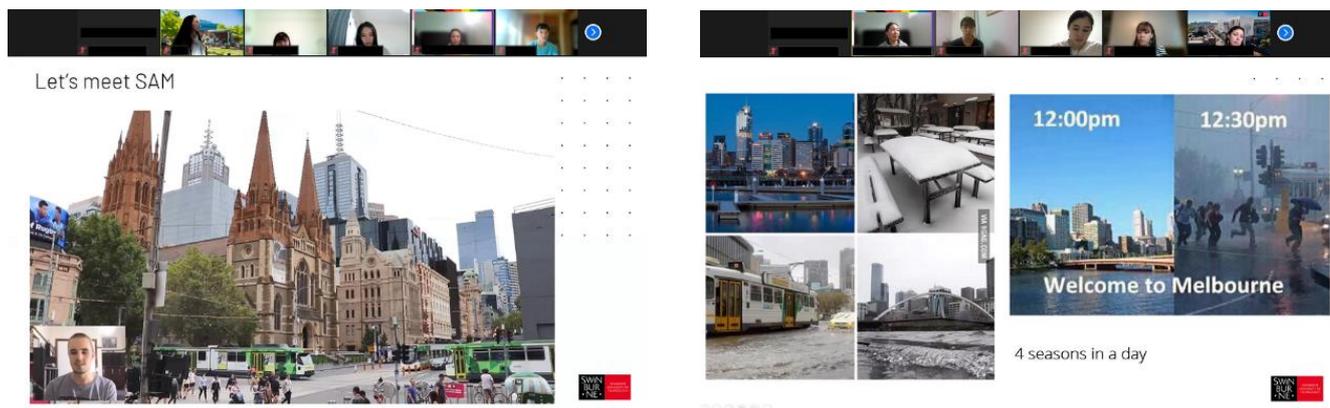
(機械工学科1年)

日本とは違い他国の人たちは初対面でも距離が近かったり、感性が違ったりすることを交流の中で感じました。また、自身の表現力が未熟な場合も、言いたいことを伝えるために身振り手振りなどで伝えることを学ぶことができました。

(都市デザイン工学科2年)

この研修では英会話のレッスンだけではなく、地元の大学生とのトークセッションやキャンパスツアー等のアクティビティが充実していました。外国ならではの雰囲気を感じたり年齢の近い外国の方と話したりと、自ら動かなければできない良い経験ができました。特に地元の学生とのトークセッションを通して、失敗を恐れずに英語を話すことが一番良い上達方法であることを実感しました。

(建築学科2年)



カナダ (トロント、バンクーバー)

機関名	ILAC (International Language Academy of Canada)
機関種別	語学学校
実施時期	2022年2月14日または15日～2/3/4週間
参加人数	9人
参加費	480～780カナダドル(約43,200～70,200円。週数により異なる)⇒出席率により、大学から支援金として参加費の最大50%をキャッシュバック

プログラム概要

カナダ最大級の名門語学学校 ILAC（アイラック）が運営するオンライン留学プログラム（ILAC Kiss）。世界中から受講者が集まる環境で、トロント、バンクーバーの一流講師からオンライン授業を受けることができます。毎週平日に行うレベル別のグループ授業3時間と1.5時間のセルフスタディ（グループワーク、エッセイの作成など）により、英語の総合力を鍛えます。グループ授業では Zoom のブレイクアウトルーム機能を使い、少人数に分かれてディスカッション等を行うこともあります。

～1日のスケジュール例～

8:00～9:30	オンライン授業（Zoom）
9:30～9:40	休憩
9:40～11:00	オンライン授業（Zoom）
1.5 時間	課題学習（クラスメイトと/個人で）

プログラム参加者の声

カナダの研修に決めたのは、様々な国の人と授業を受けられるので、外国の文化を多く学べそうだったからです。語学力向上はもちろん、異文化への理解も深まりました。生徒同士の会話では、お互いが英語を（うまく）話せないため、ボディランゲージと理解しようとする気持ちの重要性を学びました。

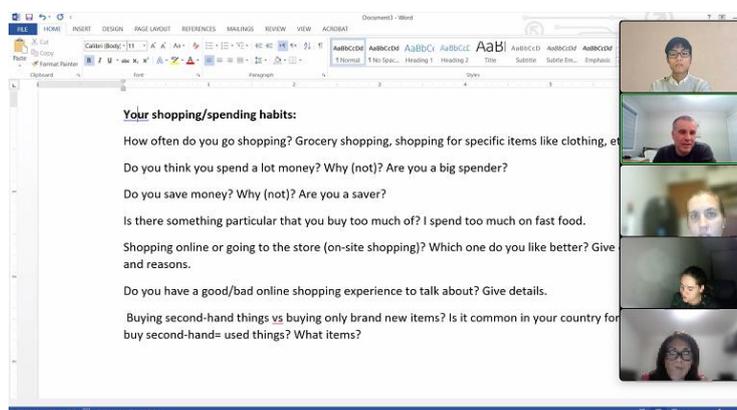
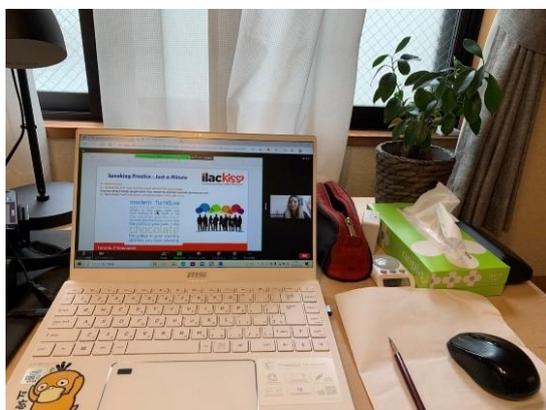
（建築学科1年）

他国の方は自分から積極的に回答をし、気になったことは授業を遮ってまで確認していました。このような所が特に日本とは違ったのですが、周りの生徒のおかげで自分でも質問をしやすい雰囲気でした。

（機械工学科4年）

（クラスに）日本人は自分だけで、他には中国、コロンビア、台湾などから参加していました。教科書をもとにグループワークを交えつつ、10 分間の休憩を含め、約3時間の授業を受けました。最初は先生の言っていることがほとんどわかりませんでしたが、4週目には慣れて聞き取れるようになりました。

（ネットワークデザイン学科1年）



語学研修・文化体験プログラム（2020年度）（オンライン）

プログラム概要

語学研修プログラム

国、都市	フィリピン セブ	オーストラリア メルボルン
機関種別	語学学校	協定大学
機関名	Newtype International Language School (NILS)	スインバン工科大学
実施時期 (夏)	2020年9月1日～9月12日のうち、 1～2週間	中止
実施時期 (春)	2021年2月15日～3月12日のうち、 1～4週間	2021年2月15日～2月26日（12日間）
内容	語学研修(英語)	語学研修(英語) 学生交流
単位認定	あり（2単位）※ただし一定の条件を満たすこと	

文化体験プログラム

国、都市	タイ バンコク	インドネシア マカッサル
機関種別	協定大学	
機関名	泰日工業大学	ハサヌディン大学
実施時期	2020年9月9日～9月10日 (2日間)	2020年11月9日～11月16日 (8日間)
内容	バーチャル観光 タイ語入門 伝統舞踊体験 歴史学習 学生交流	バーチャル観光 インドネシア語入門 伝統舞踊体験 漁師の生活と歴史の学習 料理紹介
単位認定	なし	

活動内容・参加者の声

語学研修プログラム

フィリピン（セブ）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
機関名	Newtype International Language School (NILS)
参考 URL	http://www.nilsph.com/
実施時期（夏）	2020年9月1日～9月12日のうち、1～2週間
実施時期（春）	2021年2月15日～3月12日のうち、1～4週間
参加人数	夏期32人、春期20人

プログラム紹介

セブにある日本人経営の語学学校での英語研修です（2020年度はオンラインでの実施）。学校の所在地「ITパーク」は、セブにおけるビジネスの中心地です。レッスンは基本的に月曜日から金曜日まで毎日4時間。主に先生とのマンツーマン形式で行われるため、自分のペースで英語学習を進めることができます。授業内容はカランメソッド（反復練習により英会話の瞬発力を鍛える学習法）、語彙、発音、スピーキング、自由会話、TOEIC対策から自由に選択することができます。

プログラム参加者の声

1週目は1日5時間、2週目は1日4時間レッスンを受けて、しんどいと感じる時もありました。でも、語学学校の先生は明るくて優しく、私のペースに合わせてくれたので、最後までやりきることができました。私は自分から積極的に話すのが苦手でしたが、レッスンの間や始まる前などに次はどんなことを話そうかなど、英会話を通じて前向きな気持ちになりました。

（都市デザイン工学科1年）

先生が皆すごく明るくフレンドリーに接してくれたので、すぐに緊張がほぐれました。簡単な単語や日常会話からスタートし、趣味、夢、恋愛、文化など様々なテーマについて会話を重ね、様々な会話表現だけでなく、フィリピンと日本の文化の違いや考え方の違いについても学ぶことができました。そしてなにより英語でコミュニケーションをとることに対する自信を持つことができ、すごくいい経験になりました。

（応用化学科2年）

研修では自分のレベルに合わせて英語を学べるほか、様々なカリキュラムの中から自分が勉強したいものを重点的に学べるため、比較的に自由度が高いところが魅力的だと感じました。また、先生も明るく優しい先生が多いため何度も意味を聞くことができたり、雑談で笑わせてくれるなど、英語を聞き取る自信がなくても安心して学ぶことができるのがよかったです。

（環境工学科3年）



オーストラリア（メルボルン）

プログラム種別	語学研修（協定大学）
機関名	スウィンバン工科大学
参考 URL	http://www.swinburne.edu.au/college/english-language-courses/
実施時期	2021年2月15日～2月26日（12日間）
参加人数	4人

プログラム紹介

ビクトリア州メルボルンにある、本学協定校のスウィンバン工科大学が提供するプログラムです（2020年度はオンラインでの実施）。英語学習（会話中心）に加えて、キャンパスツアー、バーチャル市内観光、国際ビジネスがテーマの講義・ワークショップ、スウィンバン工科大学の学生との交流会、同大学に語学留学中の学生との文化&言語交流会、バーチャルホームステイ（オプション）などが含まれます。詳細は[こちら](#)

プログラム参加者の声

私は英語が苦手でしたが、友達の勧めで語学研修に興味を持ち、時間もあつたため参加してみることにしました。研修では中国の学生と合同で英語の授業を受け、現地の学生との交流やバーチャルツアーもありました。英語を聞き取る力、話す力に加えて、クラスの友達との会話を通じてコミュニケーション能力や積極的に伝える力が身につきました。また、中国人やオーストラリア人の友達ができ、研修後も連絡を取り合う仲になりました。この研修を通して、自分にはできないと思って殻に閉じこもるのではなく、少しの勇気を持って挑戦することが大切だと学びました。

(応用化学科2年)

オーストラリアのことは国旗やカンガルー、コアラくらいしか知らなかったのですが、月・火・水の授業で現地の文化に触れることができ、とても良かったです。TED の講演を使うこともあり、馴染みのない(英語の)抑揚を聴きながら他の学生と議論したり、課題に取り組んだりできて面白かったです。木・金のバーチャル観光や現地の学生との交流では、写真や動画よりも身近に、オーストラリアの暮らしや大学のキャンパスの違いなどを感じることができました。

(機械工学科2年)



QUIZ - ABOUT SWINBURNE CAMPUS



- When was founded as a technical college?
- How many campuses in Australia does Swinburne have?
- Where is Swinburne's campus in Malaysia?

<https://www.youtube.com/watch?v=CaTze67w3fE>



文化体験プログラム

タイ (バンコク)

プログラム種別	文化体験
受入機関名	泰日工業大学
参考 URL	https://admission.tni.ac.th/old/web/TNI2014-jp/ https://www.youtube.com/watch?v=5f2XzPkeces&feature=youtu.be
期間	2020年9月9日～9月10日(2日間)
参加人数	3人

プログラム紹介

首都バンコクにある、本学協定校の泰日工業大学での文化体験プログラムです。日本語を学ぶ学生との交流や、初級タイ語の学習、文化施設見学、小学校、日系企業訪問、マングローブ植樹活動、週末ホームステイ体験などの活動を通して、タイの文化や歴史を学ぶことができます。例年は現地に行って直接交流をしますが、2020年度は初のオンライン開催でした。タイと日本の友好関係についての講義のほか、同大学の学生が主体となって実施するキャンパスツアーや初級タイ語講座、タイの伝統舞踏体験など、タイ文化を体験する数多くのプログラムが実施されました。

プログラム参加者の声

将来海外で仕事をしたいという目標があり、少しでも多くの国について学びたいと思い参加しました。参加者全員が発言できる機会があり、現地の学生と会話をする時間もありました。タイの伝統文化や言語を学ぶと共に、世界で問題となっている環境問題や経済問題に興味を持つようになりました。今後は、より多くの国について学び環境問題を解決する仕事に就きたいと思いました。

(応用化学科2年)

プログラムは、言語、文化、観光、グルメの紹介など盛りだくさんの内容で、これまで知らなかったタイの魅力を知ることが出来ました。プログラムでは、質問がとてもしやすい環境で自分の聞きたいことを気軽に聞くことが出来ました。タイと日本の自分たちが住んでいる町をプレゼンテーションする機会があり、オンラインでの参加でしたがとても良い経験ができ、参加して良かったと感じています。今度は直接タイに行って交流したいです。

(都市デザイン工学科1年)

初めての国際交流プログラムの参加でしたが、日本語を勉強しているタイの学生が様々な工夫をし、自分達でプログラム進行をしていたので、とても親近感を感じました。また、タイ学生の日本語理解の深さや対話に前向きな姿勢がとても好印象でした。オンラインでしたが、とても勉強になり楽しむことができました。

(知的財産学科1年)



インドネシア（マカッサル）

プログラム種別	文化体験
機関名	ハサヌディン大学
参考 URL	https://unhas.ac.id/en/article/title/international-cultural-program-batch-ii-of-universitas-hasanuddin-attended-by-participants-from-18-countries
期間	2020 年 11 月 9 日～11 月 16 日（8 日間）
参加人数	6 人

プログラム紹介

スラウェシ島南部のマカッサルにある、本学協定校のハサヌディン大学での文化体験プログラムです（2020 年度はオンラインでの実施）。テーマは「インドネシアの海洋文化：海洋資源の回復力と歴史的展望」で、大学紹介をはじめ、市内のバーチャル観光、伝統舞踊やインドネシア初級会話レッスン、漁業や魚の調理方法の紹介、熱帯魚の海洋生物の研究発表を通して、インドネシアの各島々によって伝統文化や食文化が異なることを直接教わる事ができる充実したプログラム内容でした。

プログラム参加者の声

オンラインでしたが、毎日約 2 時間英語だけを使う環境に身を置く経験はとても貴重で参加してよかったと思います。18 ヶ国 100 名以上の学生の参加があり、これからは英語で自分の想いや日本の文化を積極的に伝えることができるように頑張ろうと改めて思いました。世界中の学生と意見を聞くことができ、考え方の視野が広がることができました。

（電子情報通信工学科 3 年）

インドネシア語初級会話講座と伝統舞踊体験講座では、少人数の班に分かれて練習と発表をしました。インドネシアの学生が親切に教えてくれたので、直接現地の人と話す楽しい時間になりました。また、インドネシアに生息する海洋生物や、魚料理、環境問題についても学ぶ授業もあり、インドネシアの生活様式や歴史的背景についてもっと知りたいと思うようになりました。

（応用化学科 3 年）



語学研修・文化体験プログラム（2019年度）（派遣）

プログラム概要

語学研修プログラム（協定大学）

派遣先	オーストラリア メルボルン
機関名	Swinburne University of Technology（スインバン工科大学）
実施時期	2019年8月16日～9月8日（24日間）
内容	語学研修(英語)、学生交流
宿泊形態	ホームステイ
単位認定	あり（2単位）※ただし一定の条件を満たすこと

語学研修プログラム（語学学校）

派遣先	オーストラリア ブリスベン・ ゴールドコースト	オーストラリア シドニー・プリ ズベン・ゴール ドコースト	カナダ バンクーバー	フィリピン セブ	フィリピン セブ
機関名	Browns English Language School	Langports English Language College	Canadian College of English Language (CCEL)	Newtype International Language School (NILS)	SMEAG
実施時期 (夏)	2019年8月～9月のうち、2～4週間				実施なし
実施時期 (春)	2020年2月～3月のうち、2～4週間				
内容	語学研修(英語)				
宿泊形態	ホームステイ			学生寮	
単位認定	あり（2単位）※ただし一定の条件を満たすこと				

文化体験プログラム

派遣先	タイ バンコク	韓国 大田広域市	台湾 台南市
機関種別	協定大学		
機関名	泰日工業大学	大田大学校	南台科技大学
実施時期	2019年8月29日～9月 10日（13日間）	2019年8月10日～8月 30日（21日間）	2019年8月12日～8月23日 （12日間）
内容	タイ文化学習 学生交流 文化体験ホームステイ体験	韓国語学習 学生交流 文化体験 ホームステイ体験	中国語学習 学生交流 文化体験 ホームステイ体験
宿泊形態	ホテル	大学寮	大学寮
単位認定	なし		

活動内容・参加者の声

語学研修プログラム

オーストラリア（メルボルン）

プログラム種別	語学研修（大学機関）
受入機関名	Swinburne University of Technology（スインバン工科大学）
参考 URL	http://www.swinburne.edu.au/college/english-language-courses/
期間	2019年8月16日～9月8日（24日間）
参加人数	8人

プログラム紹介

ビクトリア州メルボルンにある協定校のスインバン工科大学で、英語を集中特訓するプログラムです。同大学はメルボルン中心部から電車で10分程度、周辺には商店やレストランが並ぶ、生活に便利な場所にあります。プログラムには英語の授業に加えて、同大学の授業聴講や施設見学、工場見学ツアー（2019年はチョコレート工場）などが含まれます。また、参加者一名につき、スインバン工科大学の学生一名がバディとしてつき、学習面や生活面でのサポート、メルボルン市内の案内などを担当してくれるので、外国で友達を作りたい方や、同年代の学生と英語で話してみたい方には特におすすめです。

プログラム参加者の声

私は英語があまり好きではありませんでしたが、好きになりたいと思い、このプログラムへの参加を決めました。オーストラリアは素晴らしい場所でした。たくさんの自然、広い土地、おいしい食べ物があり、日本で見られない動物と親切な人たちがいました。すべてのことが私の価値観を変えました。オーストラリアの友達は親切にしてくれました。私のバディはルナパーク、メルボルンセントラル、シーライフなどたくさんの場所へ連れて行ってくれました。英語でのコミュニケーションは難しく、私はちゃんと勉強してこなかったことを後悔しました。彼女は2020年か2021年に日本に来る予定なので、もし会うことができたら、今よりも上手な英語で話したいです。この気持ちが私のやる気になっています。このプログラムは、私を英語好きに変えてくれました。

(空間デザイン学科1年女子 2019年当時)



成果報告会（2019年10月15日）の資料



発表の流れ

- ・プログラム参加の理由
- ・研修内容
- ・研修前後の変化
- ・現地での生活や交流

プログラム参加のきっかけ

- ・海外に行くことが好き
- ・学生の間にはしかできないことをしたい

なぜスウィンバン工科大学にしたのか

- ・海外の大学の雰囲気を知りたい
- ・バディプログラム

研修内容

○クローズドクラス

- ・OITの学生のみ
- ・プレゼンテーションやグループワーク

ELICOS

- ・他大学の学生、他国の留学生もいる
- ・コミュニケーション重視

メルボルンでの生活・交流

○放課後

- ・シティ、ショッピングモールで買い物
- ・野生のペンギンを見にセントキルダビーチへ
- ・ホワイトナイト

○ホストファミリー

- ・晩ごはんはお喋りの時間
- ・ホストファミリーの家族
- ・優雅な土日の朝

○課外活動

- ・シティツアー
- ・チョコレートファクトリー

○ランチ

- ・大学の周辺には迷うほど多くのお店が
- ・メキシコ料理
- ・日本食 etc...

研修の前と後での違い

- ・リスニングカ
- ・英語学習へのモチベーション
- ・考え方

◎バディ

・土日には、動物園や水族館へ

・授業の合間に一緒にランチ

・放課後の時間



オーストラリア（ブリスベン／ゴールドコースト）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	Browns English Language School
参考 URL	https://brownsenglish.edu.au/
期間	2019 年 8 月～9 月（週単位で変更可）
参加人数	1 人

プログラム紹介

クィーンズランド州ブリスベンとゴールドコーストにある語学学校での英語研修です。授業は、実際に英語を使用する場面（仕事、旅行、等々）を想定したレッスンを行う「CORE」クラス、読み・書き等の各能力を集中的に高める「Active8」クラス、自習の「Accelerate」クラスの、計3種類です。クラスは6レベルに分けられるので、自分の実力にあったクラスで無理なく英語力を伸ばすことができます。

プログラム参加者の声

私はオーストラリアのゴールドコーストに一月滞在しました。語学学校ではたくさんの経験と知識を得ました。最初の一週間は全く英語が話せず、外国人の友達の言っていることも聞き取れませんでした。しかし、話せなくてもコミュニケーションを取る方法や仲良くなる方法を学びました。毎週金曜日にピクニックがあったので、様々なスポーツを通して、他のクラスの人と仲良くなることができました。ゴールドコーストの海はきれいで波も優しく、初めてサーフィンをしました。ホームステイ先では、ホストマザーがお弁当を作ってくれたり、具合が悪いときに看病してくれたり、朝も起こしてくれたり、本当の母親のようにととても親切にしてくれました。

（環境工学科2年男子 2019年当時）



オーストラリア（シドニー／ブリスベン／ゴールドコースト）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	Langports English Language College
参考 URL	https://www.langports.com/
期間	2019 年 8 月～9 月、2020 年 2 月～3 月（週単位で変更可）
参加人数	夏期 1 人、春期 1 人

プログラム紹介

ニューサウスウェールズ州シドニー、クイーンズランド州ブリスベン、ゴールドコーストにある語学学校での英語研修です。授業は、①4技能（読み、書き、聞き、話し）を総合的に伸ばす「USE OF ENGLISH」、②個々のスキルを集中的に伸ばす「FOCUS ON ENGLISH」、③発音、語彙力の強化、各種英語検定対策等から選べる選択授業があります。②はスキルごとにレベル分けされますので、「英語を読むことはできるが、話すのは苦手」といった方におすすめです。また、学校内では厳格な”English Only Policy（使用言語は英語のみというルール）”があり、授業中だけでなく休み時間も英会話を実践できます。

プログラム参加者の声

2週間オーストラリアのブリスベンに行き、ホストファミリーの家に滞在しました。英語が上手く話せず、一人で海外に行ったことがなかったので、初めはとても緊張しました。到着してまず、日本とオーストラリアの違いに驚きました。オーストラリアの家は日本の家よりも大きく、生活が本当に違いました。オーストラリアはほとんどの日が晴れのため、水があまりありません。そのためシャワーの時間が決まっていました。また、ホストファミリーは毎日午後7時までに夕食をとり、早く寝ていました。学校では、多くの友達



ができたことに感動しました。ほとんどの外国人はとても親切でフレンドリーでした。英語で話すことは苦手でしたが、ジェスチャーを使って話したりして、言葉がなくても友達になれることに気づきました。英語が上手に話せたら、友達ともっと会話できたと思います。もっと勉強して、多くの国に行きたいです。

（情報メディア学科3年女子 2019年当時）

カナダ（バンクーバー）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	Canadian College of English Language (CCEL)
参考 URL	https://canada-english.com/en/
期間	2019年8月～9月、2020年2月～3月（週単位で変更可）
参加人数	夏期8人、春期4人

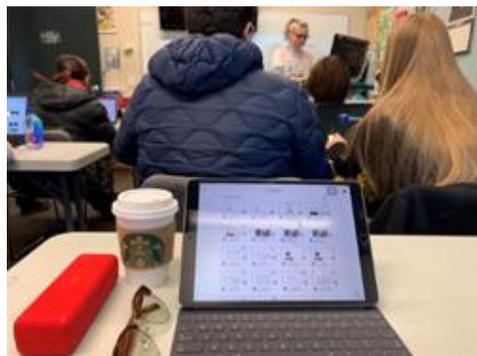
プログラム紹介

ブリティッシュコロンビア州の最大の都市、バンクーバーにある語学学校での英語研修です。授業は、4技能（読み、書き、聞き、話し）などを総合的に伸ばす総合クラスと、特定のトピックを自分で選んで集中的に学ぶ選択クラスがあります。CCELが独自に開発した教材は、学生自身のノート PC で閲覧でき、授業だけではなく、復習する際にも活用できます。初日のテストによって、7つのレベルに分けられるため、自分の英語力に合った授業を受けることができます。

プログラム参加者の声

私は一カ月カナダのバンクーバーに滞在しました。初海外、初留学でした。一人で不安でしたが、カナダの人たちが優しくフレンドリーだったので、すぐに生活に慣れました。ホストファミリーと毎晩食事を共にしていたので、寂しさは感じませんでした。彼らのおかげで留学生活を楽しく過ごせたので、感謝しています。語学学校ではたくさんの外国人がいて緊張しましたが、すぐに打ち解けることができました。会話以外の授業ではパソコンを使って学びました。未成年なので、放課後の 20 歳以上しか参加できないイベントに参加できないのが残念でしたが、友達と旅行に行って日本と異なる雰囲気のある街を見ることができ、楽しかったです。英語が話せたらもっと人生が楽しくなるし、将来できることの幅も広がると思うので、次に海外に行く時までにもっと使えるよう、これから頑張っていきたいと思います。

(都市デザイン工学科 1 年男子 2019 年当時)



成果報告会（2019年10月15日）の資料

語学研修(カナダ・CCEL)

研修内容

- ・ 語学学校
- ・ ホームステイ

参加しようと思ったきっかけ

- ・ 海外に行ってみたかった
- ・ 英語に慣れたかった

語学学校

初日

- ・ テスト
- ・ オリエンテーション

2日目～

- ・ レベルにあった授業
- ・ ペア活動多め



ホームステイ

渡航前

- ・ 食事は一緒に取る
- ・ 休日は一緒に出掛ける

↓

実際はそうではない



失敗談

準備

- ・ 事前学習

体調

- ・ 気候
- ・ 食べ物

現地で交流



研修前後で

- ・ 英語を使うことへの抵抗がなくなった
- ・ 自信がついた

プログラム参加者のレポート

2020 年春期語学研修プログラムレポート



工学部機械工学科 1 年

国：カナダ

研修先：CCEL

私は、約 2 週間カナダのバンクーバーで語学研修に参加しました。春期語学研修に参加した動機は、私自身、海外渡航の経験がなく、自分の英語力がどれだけ通用するのか知りたかった、英語中心の生活を経験してみたかったからです。英語力がどれだけ通用するか知りたかったと言いましたが、私は今まで学校や塾の授業でしか英語を学んでこなかったため、正直自信はありませんでした。空港に到着しても何か聞かれたら一言返すくらいで、ホームステイ先でもなかなか自分から話すことができませんでした。しかし、日本で経験できなかったと感じたことは、歳の近い異国の友人を持つことです。日本でも小中学生から外国人の先生と英語で会話することはできますが、私自身生徒と先生という立場や年齢も近くないことから失敗したらどうしようなどマイナスなことを考えていました。カナダに着いてからもその思いが強かったのですが、一緒にホームステイをしていたブラジル出身の 3 人はみんなで食べる夕食時に積極的にホストファミリーにしゃべりかけ、また私にも英語でたくさん話しかけてくれました。私はその姿にとっても刺激を受けました。今日はどこに行ったのか、日本とカナダの気温差など、他愛もない話をし、自分の英語が通じたときはこれまでに味わったことのない嬉しさがありました。CCEL での授業もクラスメイトと話すのがメインで音楽の話や難しくなると国際問題についても話しました。

私はこの語学研修で最後まであきらめないことを身につけました。海外の友人は慣れない英語でも自分の思いを伝えたいという気持ちがとても表れていました。間違いを恐れていましたが、私も街で会ったら自分から話しかけるようになり、英語で話すことの楽しさが分かりました。また、簡単な英語でも伝わることも分かり、自分自身の英語で話すハードルもかなり下がりました。自分の思いをより正確に伝えることができるような国際交流、異文化交流ができるよう、英語の勉強を続けていきます。

フィリピン（セブ）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	Newtype International Language School（NILS）
参考 URL	http://www.nilsph.com/
期間	2019 年 8 月～9 月、2020 年 2 月～3 月（週単位で変更可）
参加人数	夏期 11 人、春期 10 人

プログラム紹介

セブにある日本人経営の語学学校での英語研修です。学校の所在地である「IT パーク」は、セブにおけるビジネスの中心地であり、生活の便利さと安全さを兼ね備えています。レッスンは先生とのマンツーマン形式で行われるため、自分に合ったペースで英語学習を進めていくことができます。授業は、Special クラス 4 科目（ビジネス英語や各種英語検定対策）、ESL クラス 10 科目（読み、書き、聞き、話し、文法など）から自由に選択することができます。

プログラム参加者の声

私は今回初めて海外に行きました。まったくと言って良いほど英語ができないので、英語で英語を教わって理解できるだろうか、などと出発前は不安が多くありました。しかし、語学学校では先生方がフレンドリーに接してくれたので、すぐに打ち解けることができました。最初は間違えた英語を話して恥ずかしく思うことも多く、食事の注文でも英語を話さなくてはならないので大変でしたが、2 週目には慣れました。先生と交流が深くなってくると、授業が始まる前の雑談が増えました。雑談も意外と大切で、受験英語などの決まった型の英語ではなく、相手に伝わる英語を学びました。また、実際の英語圏の方は録音された教材のように明確な発音でなく訛りが入っているので、それを聞き取る練習にもなりました。慣れない生活習慣や英語で苦労したこともありましたが、良い経験になりました。



（電子情報通信工学科 2 年男子 2019 年当時）

成果報告会（2019年10月15日）の資料

はじめての海外渡航で気づいたこと
～語学研修（フィリピン・NILS）～

なぜ、海外に行こうと思ったのか？

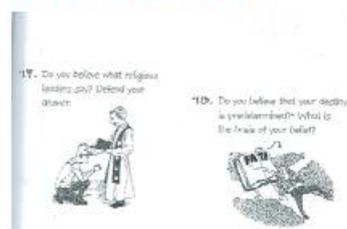
理由はいくつかあります

- ▶ 友人の話を聞いて興味をもったこと
- ▶ 海外の技術的な取り組みについて知りたかった
- ▶ 単位が欲しかったから・・・

学校の授業について

- ▶ 正社員の教員が少ない
→ 様々な職を経験している人が多く、いろいろな話を聞くことができた
- ▶ 教科書に出てくるシチュエーションが面白かった
→ おそらく、日本の学校では使えないが役に立つ場面が多かった

授業で使っていたテキスト



授業で使っていたテキスト



研修前後で比較して感じること

- ▶ 多少は英語で楽しく会話ができるようになった？
- ▶ 恋愛やジェンダーへの考え方が変わったかも？

そう感じる理由

- ▶ ① 学校の先生も含めて、セブのみんながフレンドリーだったこと
- ▶ ② ジェンダーフリーの化粧室・トイレをちょこちょこ見かけたこと
- ▶ ③ LGBTの人が本当に多かったこと

語学研修で過ごした3週間の感想

初めての海外渡航で3週間も過ごすとは思っていなかったので、異国での生活はとても楽しかった。

語学学校だけではなく、様々な場面で英語を使うことで、(すこし、)は英語力が身についたと思う！

プログラム参加者のレポート

2020 年春期語学研修プログラムレポート



工学部都市デザイン工学科 3 年

国：フィリピン

研修先：NILS

テーマ：海外語学研修に参加して身についたこと

私は 2 月 16 日から 3 週間、フィリピンのセブ島にある NILS という語学学校で英語の勉強をしました。そこで、身についたことがいくつかあります。

一つ目は英語力です。日本では英語を勉強しようとする、どうしても教科書や単語帳を勉強することばかりになり、話す力がそこまで向上しないと思っていました。しかし語学研修先では、毎日の授業はもちろん日常生活でも英語で会話や聞き取りをしないとイケないので、必然的に英語力が向上しました。

二つ目は、自分の身を守る能力です。セブ島で日常生活をしていると、知らない人でもよく話しかけてきます。一概に話しかけてくる人全員が悪いわけではありませんが、見極めることが身を守るために必要です。また、セブ島生活の 5 日目の夜に歩道を歩いていた際、尖ったでっばりに足をぶつけて怪我をしまいました。日本では安全な場所であっても、地域や国が違うと安全でないことがあると知り、日常生活では様々なところに目を配って危険察知能力をつけることが大事であると感じました。

最後は、海外での生活のすべです。海外では生活するにあたって、日本とは違うことが多くあります。例えば、水道水は飲めない・貴重品の管理は日本以上に気を付ける・道路横断の仕方などです。私はセブ島にいた際、ある出来事がきっかけで、現地のルールに合わせることの大切さに気付きました。友達と 3 人でスーパーマーケットに行ったときのことで、私たちは大きな声で話をしていたのですが、突然周りの人が動きを止めました。「お祈りの時間だ」と気付いた私たちは、その場で立ち止まって周りの雰囲気に合わせてました。この経験を通して、私はその場所や国によっての習慣やルールに合わせて、海外の人と同じように過ごすことができると知りました。

2020 年春期語学研修プログラムレポート



工学部応用化学科3年

国：フィリピン

研修先：NILS

テーマ：海外語学研修に参加して身についたこと

僕は今回の研修先であるフィリピンの NILS に 2020 年 2 月 23 日～3 月 14 日の 3 週間滞在しました。フィリピンは気候面や食事、文化など、日本とはかなり違う面もかなり多く、毎日刺激を受けながら英語を学ぶことができました。その中でも研修中に身についたと感じたことや、いい影響を受けたと感じた三つを紹介したいと思います。

まず、身についたと感じたことは英語の会話能力です。研修前の僕の英語の会話能力は、外国人にかなりゆっくり話しかけられて、それに対して非常に短い一文で返答するというレベルでしたが、3 週間後には外国人の標準の会話スピードでも、大体理解することができ、返答も質問次第では長めの返答もできるようになりました。3 週間なので大幅な英会話能力の向上とはいかないものの、発音や、自然な表現を学ぶことができました。

次にフィリピンの文化です。このフィリピンの文化の中でも最も驚いたのが、性別的に中性的な男性が日本に比べて非常に多いということです。日本では今でこそ LGBT などを多くの人々が受け入れています。フィリピンでは日本よりもさらに受け入れられているという印象でした。またフィリピンの人々の性格も穏やかでとても優しくフレンドリーなのでお店の店員とも楽しく会話できました。店員の中には勤務中にもかかわらず歌を歌ったり、急に踊りだしたりしますが、それもフィリピンでの日常で、いい文化だと思いました。

最後は、フィリピンで出会った日本人たちから受けた影響が良かったと感じました。短い期間の語学研修でもたくさんの日本人に出会いました。年齢も職業も異なりますが彼らから聞く話は僕にたくさんの刺激を与えてくれました。また、僕と同じ時期にフィリピンにやって来た他の大学の学生は、専攻が違うものの同じ理系で共通点がありすぐに仲良くなることができ、毎日一緒に行動していました。この 3 週間で語学学校の先生や現地の人々、日本人とたくさん出会い、いい経験ができたと思います。自分自身にとって新しく身につくことの多い、非常に充実した生活を送ることができたと思います。

2020 年春期語学研修プログラムレポート



工学部電子情報通信工学科 2 年

国：フィリピン

研修先：NILS

テーマ：海外語学研修に参加して身についたこと

私は英語が苦手でした。日本語は使い慣れているためなにも疑問を持たずに使えています。しかし、英語は単語や文法などいろいろと日本語との違いがあるため暗号のように感じていました。英語を自由に書いたり話したりできるようになることは私の夢でもあったため、苦手意識を払拭できればいいと考え春期語学研修プログラムに参加しフィリピンまで行きました。

私が受けた授業は語彙、聞き取り、読み取り、発音、会話、書き取りの6教科でした。授業を受けて最初に思ったことは、なかなか英語を聞き取れないということです。話すスピードが速かったり、発音の仕方が知っているのと違ったりしたためです。数回聞き直してやっと理解できるくらいでした。知らない単語が会話にあればホワイトボードに書いてもらい、電子辞書で調べました。英語の話し方も日本とは違いました。英語では一文をできるだけ一息で読むそうです。そのため、お腹から響くように息を出さないと上手く発音できませんでした。呼吸の調節が難しかったので長文を読むときは、最後のほうになるにつれて息苦しくなりました。文に区切りを入れて呼吸を挟むこともできるようですが、話す人の主観や状況によっても若干変わるようです。だいたいは、主語と述語の間で切れるようです。他にも単語と単語をくっつけて発音したり、発音しない部分があったり、発音を変えたりなどするようです。アパートやマクドナルドと言った日本では通じるカタカナ英語が海外では通じなくてとても驚きました。英語を話すのも単語が思い出せなかったり発音の仕方がわからなかったりでなかなか会話ができませんでした。

初めの一週間は英語がなかなか聞き取れませんでしたでしたが、2, 3 週間したら少しずつ聞き取れるようになり会話できるようになってきました。フィリピンに行く前はわからなかった空港のアナウンスや外国人が話している内容などが、帰国する寸前になるときは理解できなくても少しは聞き取れるようになりました。NILS の講師に音楽や映画で英語の勉強をするといいと教わったのでやってみようと思います。語学学習で学んだことを生かしてまずは TOEIC を 500 点以上取りたいと思います。

2020 年春期語学研修プログラムレポート



工学部電子情報通信工学科 2 年

国：フィリピン

研修先：NILS

私はフィリピンのセブ島にある語学学校 NILS へ 3 週間の語学研修に行ってきました。1 日 6 時間の授業はもちろん、放課後や休日に遊びに出かけたのがとても有意義な時間でした。日本とは何もかもが違う環境で、見るものすべてが珍しく面白い光景でした。特に驚いたのが人々の移動手段です。セブ島では日本のように電車が走っていないので、バスのようなジプニーという乗り物やタクシーやバイクタクシーを利用して移動するのが一般的でした。バイクの横にサイドカーを付けたものに現地の人々がぎゅうぎゅう詰め 7 人か 8 人ぐらい乗っているのを見て、あんなに人が乗れるのかとびっくりしました。しかし、友人たちと休日に遊びに行った帰りに、タクシーが全然通ってなくて、やっとつかまったのがサイドカー付きのバイク 1 台だけということがありました。7 人で一緒に乗ることになり、運転手をいれると計 8 人乗りで、日本では絶対考えられないような乗り方をして帰りました。少し怖かったけど、とてもおもしろい体験でした。

また、NILS では毎週土曜日にアクティビティが行われていました。アイランドホッピングをしたりジンベイザメと泳げるオスロブに行くなどいろんな企画がありました。学校の先生が引率してくれるので安心して遊べるし、英語で話せるのでとてもよかったです。上の写真は、アクティビティでアイランドホッピングに行った時のものです。海で泳いだり、海上にある滑り台や飛び込み台、マーブルという浮き輪に乗ってそれをジェットスキーで引っ張ってもらったり、お昼を食べた後は島を散歩したりして、地元の人たちとも関わってとても楽しかったです。

語学研修は時間もお金もかかっていますが、日本ではできないことがとてもたくさん体験できるため、参加して本当に良かったと思います。

2020 年春期語学研修プログラムレポート



ロボティクス&デザイン工学部
システムデザイン工学科1年
国：フィリピン
研修先：NILS

留学を通して身についたことは、自分を表現することです。授業はすべてマンツーマン形式で行われるため、恥ずかしがらずに相手と一緒に歌って、踊ることで互いにうちとけあって会話がはずみました。うまく会話ができないからこそ、身体を動かすことで話しやすい空気になりました。海外では相手にものを伝えるとき、すぐにそれに見合った単語が出てきません。言葉だけでなく、ジェスチャーで表現することはコミュニケーションにおいてとても重要です。ひと言で短絡的に日常会話ができる日本では感じないことです。

感動したことは助け合いの精神です。現地には貧しいため、物乞いしている人がいました。そこを通りかかった大半の人が立ち止まって寄付していました。キリスト教を信仰している人が多く、彼らは「誰かのために良いことをしたら、めぐりめぐって自分に帰ってくる」と言っていました。宗教が人格形成の基盤となっていることを痛感しました。また、フィリピンの人は親思いです。ニルスの先生は若い人が多く、もらったお給料の大半は親に渡していました。家族への感謝と思いやりの大切さを知らされました。

苦しかったことは、現地の雰囲気慣れることです。ニルスの先生は廊下ですれ違ったらみんな明るく話しかけてくれます。その明るさに圧倒されておじけづいてしまうことがありました。感情をさらけ出すことが恥ずかしかったからです。しかし、自分から相手に話しかけよう意識することで名前も覚えてもらえて、会話が楽しくなりました。

現地で体調を崩してしまって学校をお休みしたことがありました。ニルスのスタッフが体調をうかがいに部屋まで来てくれました。英語が聞き取れない僕のために、頑張って日本語で話してくれました。体調が治ってから学校にいくと笑顔で喜んでくれました。感謝しています。

フィリピン（セブ）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	SMEAG
参考 URL	http://smeag.jp/
期間	2020 年 2 月～3 月（週単位で変更可）
参加人数	2 人

プログラム紹介

セブに 3 キャンパスを持ち、フィリピン最大規模の留学生受入実績を誇る日本・韓国共同経営の語学学校での英語研修です。短期間で最大の効果を上げられるよう、授業は 1 日約 11 時間で、マンツーマン形式とグループ形式のクラスが組み合わせられています。初日にレベルチェックテストがあり、自分の英語力に合った授業を受けることができます。各キャンパスは寮と学校が一体化しているため、通学費がかかりません。キャンパス内には売店やジム、シアタールームなど設備が充実しており、1 日 3 食の食事（日曜日のみ 2 食）と掃除・洗濯サービスも研修費用に含まれるので、快適に生活でき、余暇も楽しむことができます。

プログラム参加者の声

約 1 ヶ月間、フィリピンのセブ島での語学研修に参加し、語学を学ぶにあたって最も重要なのは、積極的にコミュニケーションをとる意欲だと考えるようになりました。語学学校にはフィリピン人のスタッフだけでなく、中国、韓国、台湾、オマーン、その他さまざまな国から学生が来ており、交流も活発でした。その中でコミュニケーションをとるには、十分な語彙と発音する練習が必要です。学んだ文脈（センテンス）や語彙は忘れないうちに会話で積極的に用いました。会話の途中で知らない単語があれば、その度にスマートフォンアプリの辞書で調べ、学習しました。当初は英語の語学力の修練を目的としていましたが、その上で、様々な国際感覚が身につき、（寮生活を通じて）自主自立の生活意識を得るなど、期待以上の体験をすることができました。



（コンピュータ科学科 2 年男子 2020 年当時）

プログラム参加者のレポート

2020 年春期語学研修プログラム レポート



情報科学部コンピュータ科学科 2 年

国：フィリピン

研修先：SMEAG

○語学研修による効果と成果

私はフィリピンセブ島の SMEAG 校にて、2/17～3/13の約1ヶ月間、語学研修に参加しました。当初は英語の語学力の修練を目的としていましたが、その上で、フィリピンの地で様々な国からやってきた外国の学生と共に学習することで、様々な国際感覚を身につけ、自主自立の生活意識を得るなど、期待以上の体験をすることができました。また、母語でない言語を話すことへの恐怖心や抵抗感を減らす特訓として、非常に有効でした。

○語学を学ぶにあたって必要なもの

語学研修に参加して、語学を学ぶにあたって最も重要なのは、英語で積極的にコミュニケーションをとる意欲だと考えるようになりました。参加前の私は「フィリピンというのは行って過ごすだけで英語が身に付く夢と魔法の国」という認識でした。しかし、実際は「英語圏の世界で一人浮かないように必死で喰らいつく修羅の国」でした。語学学校にはフィリピン人のスタッフだけでなく、中国、韓国、台湾、オマーン、その他さまざまな国から学生が来ており、交流も活発です。その中でコミュニケーションをとるには十分な語彙と発音する練習が必要です。学んだ文脈（センテンス）や語彙は忘れないうちに会話で積極的に用いました。言葉は使わないと忘れてしまうからです。もし会話の途中で、私が知らない単語を聞けば、その度にスマートフォンアプリの辞書で調べ、学習していきました。このような英語でのコミュニケーションをとるには多大な労力がかかりますが、コミュニケーションをとるには他には方法が無い訳ですので、まさに特訓にふさわしい環境だと感じました。

○語学学習への意識の変化

英語を学ぶ一番の理由はコミュニケーションです。英語を話す英語で読み取り、自分の意思を伝えることです。現地の学校での話ですが、私は少人数クラスにてほぼ同年齢の韓国人と台湾人のクラスメイトになりました。当初彼らとの会話は英語によるものでしたが、1週間程度経った頃から、お互いの言語を話し合うようになったことがあります。内容はあいさつや代表的な文化の発音、スラングなどでした。私は、これらはお互いについてさらに知ろうとする、コミュニケーションの現れだと思います。お互いに中間言語の英語を挟むより、直接相手の言葉を聞いたほうが楽だったのかもしれませんが、以降、私は英語を学習するときは、このコミュニケーションをとるために英語を学習するという目的意識をはっきりさせるようになりました。これは、今後英語のみならず他の言語を習得するためにも、必要な意識だと考えています。

文化体験プログラム

タイ (バンコク)

プログラム種別	文化体験
受入機関名	泰日工業大学
参考 URL	https://admission.tni.ac.th/old/web/TNI2014-jp/
期間	2019 年 8 月 29 日～9 月 10 日 (13 日間)
参加人数	5 人

プログラム紹介

首都バンコクにある、本学協定校の泰日工業大学での文化体験プログラムです。同大学で日本語を学ぶ学生との交流や、初級タイ語の学習、文化施設見学、小学校、日系企業訪問、マングローブ植樹活動、週末ホームステイ体験などの活動を通して、タイの文化や歴史を学ぶことができます。

こんな人にお勧めです

- タイの文化に関心がある
- 現地の学生と交流したい

プログラム参加者の声

普段からタイ料理屋さんによく行くため、タイ料理のおいしさは知っていましたが、現地で本場の味を口にしてさらに好きになりました。タイ人はとても親切でした。これはタイが仏教国であり、徳を積みば来世で幸せな生まれ変わりができると信じられているからでもあります。英語が通じない方でも、こちらが言っていることを必死に理解しようとしてくれ、絵を描いたりして伝えてくれました。これは日本ではあまりないことだと感じました。日本だと外国人に道を聞かれても、英語がわからないなどを理由に避ける傾向があると思います。そのため、タイでのこの対応にはとても驚かされました。この文化体験を通して、多くのことを知り学び、充実した 13 日間を過ごすことができました。参加できて本当に良かったです。

(応用化学科 3 年男子 2019 年当時)



成果報告会（2019年10月15日）の資料

文化体験プログラム（タイ）発表

発表内容



ホームステイ



ホームステイ



タイの大学との交流



現地でのプログラム（工場見学）



現地でのプログラム（マングローブの植林活動）



現地でのプログラム（小学校訪問）



自由時間（タイの観光名所巡り）



ご清聴
ありがとう
ございました



韓国（大田広域市）

プログラム種別	文化体験
受入機関名	大田大学校
参考 URL	http://www.dju.ac.kr/foreign/japan/
期間	2019年8月10日～8月30日（21日間）
参加人数	3人

プログラム紹介

大田広域市にある、本学協定校の大田大学校での文化体験プログラムです。現地の学生との交流、ホームステイ、基礎韓国語の授業、文化施設見学、テコンドー体験や料理作りなど、様々な活動を通じて、韓国の文化や歴史を学びます。

こんな人にお勧めです

- 韓国文化（K-Pop・韓流ドラマ・韓国料理など）に興味がある
- 韓国語を学びたい
- 現地の学生と交流したい

プログラム参加者の声

3週間の滞在で、韓国のマナーや文化について多くのことを知りました。日本では食事の際、たいてい木製の箸を使いますが、韓国では鉄の箸を使っていました。また、目上の人とお酒を飲むときは、その方と違う方向を向いて飲むというマナーがあり、大田大学校の先生とお酒を飲んだ際にやってみました。授業では、韓国語の発音、読み書きと文化を学びました。韓国語は以前から少し勉強していましたが、発音が難しく全然わからなかったので、大田大学校のバディや先生と仲良くなって会話し、正しい発音ができるまで教えてもらいました。リスニングも、韓国に行ってもすぐはできませんでしたが、帰国前には初めよりも聞き取れるようになりました。バディは大学周辺のカフェや学生行きつけの店などに案内してくれ、休日にはソウルやプサンに一緒に行ってくれました。帰国してからも連絡を取り合う友達ができ、プログラムに参加して良かったと思います。

（機械工学科3年男子 2019年当時）



成果報告会（2019年10月15日）の資料

文化体験(韓国)

2019.8.10~8.31

2019年 夏期文化体験プログラム

- 期間: 8/10~8/31
- 派遣先: 大田大学校
- 参加者: 大阪工業大学 3名(女2, 男1)
 摂南大学 4名(女4)
 広島国際大学 2名(女2)
 今回は北海学園大学からも14名、
 留学研修で来ていた。



主なプログラム



- 韓国語と韓国文化の授業
- 韓国文化体験
- 全州ツアー
- ソウルツアー

パディプログラム

日本語を勉強している現地の学生と、熊本から留学している学生2名が北海道と常期に分かれてついていた。




パディマッチングのあとは目隠し物当てゲームやイントロクイズでみんな交流を深めた。

全州 (チョンジュ) ツアー

韓国に到着して最初の休日に先生、パディ、常翔、北海学園で全州を観光。

全州: 韓国の古い町並みが残る観光地
 ビビンバが発祥の地
 日本でいう京都のような町



全州 (チョンジュ) ツアー




授業

- 9:30~11:30 韓国語
- 11:30~13:30 ランチ
- 13:30~15:30 文化授業



文化体験

- 野球観戦
- クッキングクラス
- テコンドー






台湾（南台市）

プログラム種別	文化体験
受入機関名	南台科技大学
参考 URL	http://www.stust.edu.tw/en
期間	2019年8月12日～8月23日(12日間)
参加人数	1人

プログラム紹介

台湾の台南市にある、本学の協定校の南台科技大での文化体験プログラムです。基本的に午前は中国語の勉強をし、午後は陶芸や原住民族ダンス、藍染めといった台湾の様々な文化を学ぶ活動や、フィールドトリップに参加します。

こんな人にお勧めです

- 台湾文化や中国語に興味がある
- 伝統工芸品を作りたい
- 現地の学生と交流したい

プログラム参加者の声

このプログラムでは、参加者に南台科技大学のチューターが1人ずつ付きますが、残念ながら私のチューターは入院してしまったため、結局一度も顔を合わせることができませんでした。しかし、現地で出会った学生が親切にしてくれたおかげで、無事に最終日を迎えることができました。話せないこと、これが今回のプログラムで最も苦しんだことです。（プログラム参加者の）タイの学生たちに夕食に誘われた際は、日本語が少し話せる学生以外とはろくに会話ができず、悔しいと思いました。



ここで救いだったのは、私たちをつなぐのは言葉だけではないということです。タイの学生と同じ音楽グループが好きだとわかったときから、好きなメンバー、曲などの話題が、言葉を超えて私たちをつなげてくれました。これを実感できたことは大きな収穫でした。

（知的財産学科1年女子 2019年当時）

成果報告会（2019年10月15日）の資料



参加理由

- ① 海外に出てネイティブと交流したい!
- ② 台湾の文化に興味があった

目的

- ・友達を作る
- ・簡単な挨拶、日常会話を身に付ける

中国や韓国と同じくらい身近な国、でも、そこがどんな場所かは知らない。

現地での交流について

ひとりで海外へ行くのは初めてで内心ドキドキ

しかし、現地でもひとり...

研修内容

陶芸

先住民ダンス

中国語講義

バイナッフルケーキ作り

懇談会

体験談

しゃぶしゃぶ

研修前後の比較

前

簡単な言葉の練習はできるだろう

しかし...

できなかった。

後

意識の変化が...

語学研修・文化体験プログラム（2018年度）（派遣）

2018年度 語学研修プログラムの概要

派遣先		オーストラリア メルボルン	オーストラリア ブリスベン・ゴールドコースト	オーストラリア シドニー・ブリスベン・ゴールドコースト	カナダ バンクーバー	フィリピン セブ
機関種別		協定大学		語学学校		
機関名		Swinburne University of Technology	Browns English Language School	Langports English Language College	Canadian College of English Language	Newtype International Language School (NILS)
夏実施	時期	8月14日～9月9日	8月～9月			
	期間	3週間	週単位で設定可			
春実施	時期	実施なし	2019年2月～3月			
	期間		週単位で設定可			
内容		語学研修(英語) 学生交流	語学研修(英語)			
宿泊形態		ホームステイ				学生寮
単位認定		あり（2単位）※ただし一定の条件を満たすこと				

2018年度 文化体験プログラムの概要

派遣先	タイ バンコク	韓国 大田広域市	台湾 台南市
機関種別	協定大学		
機関名	泰日工業大学	大田大学校	南台科技大学
実施時期 (予定)	8月23日～9月4日	8月10日～8月30日	8月12日～8月25日
日数	13日間	21日間	14日間
内容	タイ文化学習 学生交流 文化体験 ホームステイ体験	韓国語学習 学生交流 文化体験 ホームステイ体験	中国語学習 学生交流 文化体験 ホームステイ体験
宿泊形態	ホテル	大学寮	大学寮
単位認定	なし		

語学研修プログラム

オーストラリア (メルボルン)

プログラム種別	語学研修 (大学機関)
受入機関名	Swinburne University of Technology (スインバン工科大学)
参考 URL	http://www.swinburne.edu.au/college/english-language-courses/
期間	2018年8月14日～9月9日 (27日間)

プログラム紹介

ビクトリア州メルボルンにあるスインバン工科大学で、英語を集中特訓するプログラムです。同大学はメルボルン中心部から電車で10分程度、周辺には商店やレストランが並ぶ、生活に便利な場所にあります。参加者一名につき、スインバン工科大学の学生一名がバディとしてつき、学習面や生活面でのサポート、メルボルン市内の案内などを担当してくれます。また、課外活動として、グレートオーシャンロードなどの観光名所を巡るツアーが含まれています。

プログラム参加者の声

最初に身についたのは度胸です。私は普段から積極的でなく、知らない人と話すときは緊張してうまく話せませんでした。オーストラリアでは多くの方が友好的で、自然に人と話すことに慣れました。次に身についたのは自然な会話表現です。特に驚いたのが、“beautiful”の使い方です。私はこれまで“beautiful”は「美しい」の意味でしか使わないと思っていましたが、オーストラリアでは、誰かが何かをやり遂げたときにも使っていました。たとえば私がプレゼンテーションを終えたとき、先生は“It was beautiful.”と言



いました。意味を尋ねると、“Well done.”（よくできた）と同じ意味だと教えてくれました。最後に身についたのは広い視野です。オーストラリアは移民国家なので様々な人種の方がおり、皆違う価値観を持っていました。今では以前よりも多くの視点で物事を考えられるようになりました。

（環境工学科1年男子 2018年当時）

オーストラリア（ブリスベン／ゴールドコースト）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	Browns English Language School （ブラウズ イングリッシュ ランゲージ スクール）
参考 URL	https://brownsenglish.edu.au/
期間	8月～9月、2月～3月（週単位で変更可）

プログラム紹介

クイーンズランド州ブリスベンとゴールドコーストにある語学学校での英語プログラムです。授業は、実際に英語を使用する場面（仕事、旅行、等々）を想定したレッスンを行う「CORE」クラス、読み・書き等の各能力を集中的に高める「Active8」クラス、自習の「Accelerate」クラスの、計3種類です。クラスは6レベルに分けられるので、自分の実力にあったクラスで無理なく英語力を伸ばすことができます。

プログラム参加者の声

語学学校では外国人の友達をたくさん作ることができました。ただ、英語で会話するのは予想よりも難しかったです。アジア出身の友達は普段アルファベットを使わないので、発音が日本人と似ており、お互いに何を言っているのかが理解できました。一方、ブラジルやスペインなどアルファベットを使う国の友達は、発音が日本人と異なりました。聞き取れないこともありました。ボディランゲージを交えて何とか会話することができました。



また、笑顔でいると会話がスムーズになり、笑顔は世界共通言語だと感じました。

(システムデザイン工学科 2年男子 2018年当時)

オーストラリア (シドニー／ブリスベン／ゴールドコースト)

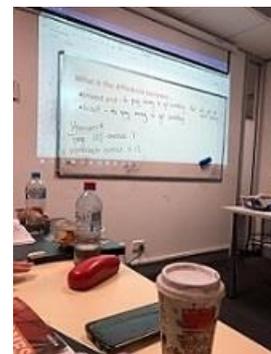
プログラム種別	語学研修 (語学学校)
受入機関名	Langports English Language College (ラングポーツ イングリッシュ ランゲージ カレッジ)
参考 URL	https://www.langports.com/
期間	2月～3月 (週単位で変更可)

プログラム紹介

ニューサウスウェールズ州シドニー、クイーンズランド州ブリスベン、ゴールドコーストにある語学学校での英語プログラムです。授業は、①4技能 (読み、書き、聞き、話し) を総合的に伸ばす「USE OF ENGLISH」、②個々のスキルを集中的に伸ばす「FOCUS ON ENGLISH」、③発音、語彙力の強化、各種英語検定対策等から選べる選択授業があります。②ではスキルごとにレベル分けされますので、「英語を読むことはできるが、話すのは苦手」といった方におすすめです。また、学校内では厳格な”English Only Policy (使用言語は英語のみというルール)”があり、授業中だけでなく休み時間も英会話を実践できます。

プログラム参加者の声

ラングポーツでの3週間はあっという間でした。高層ビルが立ち並ぶブリスベンでの暮らしは想像以上に快適で、日本に帰りたくないと思ったほどです。入学するとまずクラス分けテストがありました。ある程度解けるだろうと思っていましたが、そうはいかなかったのが、事前にもっと勉強しておくべきでした。私は日本人の多いクラスに配属されました。日本人の他には韓国人やチリ人、ブラジル人、コロンビア人、タイ人がいました。ラテン系の方は明るく社交的な一方、日本人はシャイで慎重な人が多かったです。私自身も後者のタイプで、クラスの雰囲気に慣れるのに時間がかかりましたが、最終的にはクラスの何人かと旅行に行くまでになりました。



(知的財産学科 2年男子 2018年当時)

カナダ（バンクーバー）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	Canadian College of English Language（CCEL）
参考 URL	https://canada-english.com/en/
期間	8月～9月、2月～3月（週単位で変更可）

プログラム紹介

ブリティッシュコロンビア州の最大の都市、バンクーバーにある語学学校での英語プログラムです。授業は、4技能（読み、書き、聞き、話し）などを総合的に伸ばす総合クラスと、特定のトピックを自分で選んで集中的に学ぶ選択クラスがあります。CCELが独自に開発した教材は、学生自身のノートPCで閲覧でき、授業だけではなく、復習する際にも活用できます。初日のテストによって、7つのレベルに分けられるため、自分の英語力に合った授業を受けることができます。

プログラム参加者の声

CCELで初めて友達になったのは、同じクラスにいたベネズエラ人の男の子とロシア人の女の子でした。二人はすでにある程度の英語が話せましたが、私が話すまで待ってくれたり、ゆっくり話してくれたりしました。彼らのおかげで、英語を話すことに抵抗がなくなり、楽しく過ごせました。英語でのコミュニケーションには不安や辛いことも多いですが、私はそれによって生まれる人とのつながりは、苦しみを乗り越えたからこそ価値があると思いました。今後も英語の勉強を続け、学んだことを活かして他国の人と交流を深めていきたいです。

（システムデザイン工学科2年男子 2018年当時）



フィリピン（セブ）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	Newtype International Language School（NILS）
参考 URL	http://www.nilsph.com/
期間	8月～9月、2月～3月（週単位で変更可）

プログラム紹介

セブにある語学学校での英語プログラムです。学校の所在地である「IT パーク」は、セブにおけるビジネスの中心地であり、生活の便利さと安全さを兼ね備えています。レッスンは先生とのマンツーマン形式で行われるため、自分に合ったペースで英語学習を進めていくことができます。授業は、Special クラス 4 科目（ビジネス英語や各種英語検定対策）、ESL クラス 10 科目（読み、書き、聞き、話し、文法など）から自由に選択することができます。

プログラム参加者の声

最初の頃、語学学校で私は消極的でしたが、先生たちは明るく、他の生徒たちも積極的でした。先生が「恥ずかしがらないで」と言ってくれたので、いろいろな先生に話しかける努力をしました。授業では趣味、夢、勉強や恋愛などについて話をしました。つたない英語でも、話すことはとても楽しかったです。先生たちは親切で面白く、友達のような存在でした。また、学校の外に出かけたときも、毎回タクシーの運転手や店員のフィリピン人と会話するよう努力しました。この留学で私は積極的になれました。この経験を今後、就職活動などに活かしていきたいです。

（空間デザイン学科 2 年男子 2018 年当時）



文化体験プログラム

タイ（バンコク）

プログラム種別	文化体験
受入機関名	泰日工業大学
参考 URL	https://admission.tni.ac.th/old/web/tni2014-jp/
期間	2018 年 8 月 23 日～9 月 4 日(13 日間)

プログラム紹介

首都バンコクにある、本学協定校の泰日工業大学での文化体験プログラムです。同大学で日本語を学ぶ学生との交流や、初級タイ語の学習、文化施設見学、小学校、日系企業訪問、マングローブ植樹活動、週末ホームステイ体験などの活動を通して、タイの文化や歴史を学ぶことができます。

こんな人にお勧めです

- タイの文化に関心がある。
- 現地の学生と交流したい。

プログラム参加者の声

ホームステイや高校見学、小学校訪問などを行いました。タイでは物価が安い、車やバイクが多い、道路の水はけが悪い、皆がタクシーを使う、フォークとスプーンで食事するなど、日本との違いをたくさん感じました。また、タイ人の性格には感心しました。今を楽しく生き、困っている人がいれば必ず助けにいく。そして努力家が多い。こうしたタイの人たちと関わることで、自分も与えられた環境で努力しつつ、楽しむことが大切だと感じました。これまで旅行は日本国内だけで良いと考えていましたが、このプログラムに参加して、もっと世界を見たいと思うようになりました。

(システムデザイン工学科1年男子 2018年当時)



韓国（大田広域市）

プログラム種別	文化体験
受入機関名	大田大学校
参考 URL	http://www.dju.ac.kr/foreign/japan/
期間	2018年8月10日～8月30日（21日間）

プログラム紹介

大田広域市にある、本学協定校の大田大学校での文化体験プログラムです。現地の学生との交流、ホームステイ、基礎韓国語の授業、文化施設見学、テコンドー体験や料理作りなど、様々な活動を通じて、韓国の文化や歴史を学びます。

こんな人にお勧めです

- 韓国文化（K-Pop・韓流ドラマ・韓国料理など）に興味がある。
- 現地の学生と交流したい。

プログラム参加者の声

週末を除いて毎日韓国語の授業が2時間あり、会話、読み書き、聞き取りなどを学びました。放課後はバディと遊び、韓国語で話をして、教科書に載っていない若者言葉も教えてもらいました。バディはとても親切で、地元のおしゃれなお店やおいしい飲食店を紹介してくれました。また、3週間生活したことで、韓国のマナーや常識を理解することができました。たとえば電車、バスの中や食事の際は、年上を敬う文化が強く根付いていました。このプログラムを通して、旅行では知ることのできない韓国を知ることができました。充実した体験ができ、本当に良かったです。

(都市デザイン工学科4年男子 2018年当時)



台湾（南台市）

プログラム種別	文化体験
受入機関名	南台科技大学
参考 URL	http://www.stust.edu.tw/en
期間	2018年8月12日～8月25日(14日間)

プログラム紹介

台湾の台南市にある、本学の協定校の南台科技大での文化体験プログラムです。基本的に午前は中国語の勉強をし、午後は陶芸や原住民族ダンス、藍染めといった台湾の様々な文化を学ぶ活動や、フィールドトリップに参加します。

こんな人にお勧めです

- 台湾文化や中国語に興味がある。
- 現地の学生と交流したい。

プログラム参加者の声

基本的にほぼ毎日、中国語のレッスンが半日か全日ありました。私はこれまで独学で勉強していたので、中国語が多少理解できる人向けのクラスに入りましたが、発音などでかなり苦戦しました。レッスン以外の時間は、文化体験や観光をしました。お菓子作り、藍染め、陶芸、民族ダンスをし、台南や嘉義、台中を訪れました。自由時間は夜市に行ったり、台湾人のチューターさんとカラオケやボーリングに行ったりして楽しみました。私はプログラムに参加したことで、日本の素晴らしさにも改めて気づきました。



今回お世話になった人たちが日本に来た時のために、今後も中国語の勉強を続けたいと思います。

(情報システム学科2年男子 2018年当時)

語学研修・文化体験プログラム（2017年度）（派遣）

2017年度 語学研修プログラムの概要

派遣先		オーストラリア メルボルン	オーストラリア ブリスベン・ゴールドコ ースト	カナダ バンクーバー	フィリピン セブ
機関種別		協定大学	語学学校		
機関名		Swinburne University of Technology	Browns English Language School	Canadian College of English Language	New type International Language School (NILS)
夏実施	時 期	8月15日～ 9月10日	8月～9月		
	期 間	3週間	週単位で設定可		
春実施	時 期	実施なし	2018年2月～3月		
	期 間		週単位で設定可		
内容		語学研修(英語) 学生交流	語学研修(英語)		
宿泊形態		ホームステイ			学生寮
単位認定		あり（2単位）※ただし一定の条件を満たすこと			

2017年度 文化体験プログラムの概要

派遣先	タイ バンコク	台湾 台南市
機関種別	協定大学	
機関名	泰日工業大学	南台科技大学
実施時期	8月23日～9月2日	8月13日～8月26日
日 数	11日間	14日間
内容	タイ文化学習 学生交流 文化体験	中国語学習 学生交流 文化体験
宿泊形態	ホテル	大学寮
単位認定	なし	

語学研修

オーストラリア（メルボルン）

プログラム種別	語学研修（大学機関）
受入機関名	Swinburne University of Technology（スインバン工科大学）
参考 URL	http://www.swinburne.edu.au/college/english-language-courses/
期間	2017年8月15日～9月10日（27日間）

プログラム紹介

ビクトリア州メルボルンにあるスインバン工科大学での、英語を集中特訓するプログラムです。同大学はメルボルン中心部から電車で10分程度、周辺には商店やレストランが並ぶ、生活に便利な場所にあります。参加者一人につき、バディが一人つき、学習面や生活面のサポート、メルボルン市内の案内などを担当してくれます。また、課外活動として、自然公園やグレートオーシャンロードなどの観光名所を巡るツアーが含まれています。

プログラム参加者の声

スインバン工科大学には、日本人だけでなく韓国人や中国人なども英語を学びに来ていて、英語は世界共通の言語でとても重要なものだと思います。クラスで会話練習をしたときは、国によって発音の仕方が異なっているため苦労しましたが、楽しかったです。ホストファミリーやバディともよく会話しました。家族やペット、またオーストラリアの街並みなど多くのことを話しました。しかし、相手の言葉が少ししか理解できないこともあり、もう少し日本で英語を学ぶべきだと思いました。

（環境工学科2年男子2017年当時）



オーストラリア（ブリスベン／ゴールドコースト）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	Browns English Language School （ブラウنز イングリッシュ ランゲージ スクール）
参考 URL	https://brownsenglish.edu.au/
期間	8月～9月、2月～3月（週単位で変更可）

プログラム紹介

クイーンズランド州ブリスベンとゴールドコーストにある語学学校での英語プログラムです。授業は、実際に英語を使用する場面（仕事、旅行、等々）を想定したレッスンを行う「CORE」クラス、読み・書き等の各能力を集中的に高める「Atcive8」クラス、自習の「Accelerate」クラスの、計3種類です。クラスは6レベルに分けられるので、自分の実力にあったクラスで無理なく英語力を伸ばすことができます。

プログラム参加者の声

オーストラリアに行くまでは、緊張していて現地での生活が不安でしたが、最終的にこの研修は本当に楽しかったです。ホストファミリーやクラスメイトはとても親切で、様々な国の友達ができました。友達とは、ビーチや動物園、テーマパークを訪れたり、ホームパーティーに参加したりして、英語で会話しました。しかし、私は具体的な話をするのが苦手でした。もっと英語を勉強して、深い話ができればよかったです。

（都市デザイン工学科3年男子 2017年当時）



カナダ（バンクーバー）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	Canadian College of English Language (CCEL)
参考 URL	http://www.ccel.jp/jp/
期間	8月～9月、2017年2月～3月（週単位で変更可）

プログラム紹介

ブリティッシュコロンビア州の最大の都市、バンクーバーにある語学学校での英語プログラムです。授業は、4技能（読み、書き、聞き、話し）などを総合的に伸ばす総合クラスと、特定のトピックを自分で選んで集中的に学ぶ選択クラスがあります。CCELが独自に開発した教材は、学生自身のノートPCで閲覧でき、授業だけではなく、復習する際にも活用できます。初日のテストによって、7つのレベルに分けられるため、自分の英語力に即した授業を受けることができます。

プログラム参加者の声

語学学校では、サウジアラビア、タイ、メキシコ、ロシア、ブラジルなどから来た学生と一緒に授業を受けましたが、様々な国の生活を聞いたことで、刺激と広い視野が得られました。この研修に参加して、日本と異なる文化や考えに触れたことで、語学力をより向上させたいと思いました。

（機械工学科2年男子 2017年当時）



フィリピン（セブ）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	New type International Language School（NILS）
参考 URL	http://www.nilsph.com/
期間	8月～9月、2月～3月（週単位で変更可）

プログラム紹介

セブにある語学学校での、英語プログラムです。学校の所在地である「IT パーク」は、セブにおけるビジネスの中心地であり、生活の便利さと安全さを兼ね備えています。レッスンは先生とのマンツーマン形式で行われるため、自分に合ったペースで英語学習を進めていくことができます。授業は、Special クラス 4 科目（ビジネス英語や各種英語検定対策）、ESL クラス 10 科目（読み、書き、聞き、話し、文法など）から自由に選択することができます。

プログラム参加者の声

授業初日には、先生からの質問をなかなか聞き取ることができず、返答も単語でしかできませんでした。しかし、英語を話せるようになりたいという思いが強かったので、スピーキングの授業を多くとりました。すると、授業を受けるうちに、少しずつ英語が聞き取れるようになり、返答も可能な限り文章で返せるようになりました。研修に参加したのは2週間だけでしたが、私は日本に帰っても必ず英語の勉強を続けようと思いました。

（応用化学科3年男子 2017年当時）



文化体験プログラム

タイ（バンコク）

プログラム種別	文化体験
受入機関名	泰日工業大学
参考 URL	http://www.tni.ac.th/web/tni2014-jp/
期間	2017年8月23日～9月2日（11日間）

プログラム紹介

首都バンコクにある、本学の協定校である泰日工業大学での文化体験プログラムです。同大学で日本語を学ぶ学生との交流や、小学校、日系企業訪問、ホームステイなどの活動を通じ、タイの文化や歴史を学ぶことができます。

プログラム参加者の声

プログラムを通して、タイの文化をたくさん知ることができました。少し紹介すると、タイでは主にスプーンとフォークを使って食事をします。また、日本に比べると、買い手と売り手の間の関係が平等であり、タクシーでは行きたい場所を伝えると、運転手に断られることがありました。身についたこともあります。それは外国語で話す勇気です。ホームステイ体験では、ホストファミリーが日本語をほとんど話せなかったため、英語と少しだけ覚えたタイ語を使ってコミュニケーションをとりました。現地では、友達もたくさんできました。現在でも連絡を取り合っていて、今度日本に来る際は、大阪を案内してあげるつもりです。

(応用化学科2年男子 2017年当時)



台湾（台南市）

プログラム種別	文化体験
受入機関名	南台科技大学
参考 URL	http://www.stust.edu.tw/en
期間	2017年8月13日～8月26日（14日間）

プログラム紹介

台湾の台南市にある、本学の協定校の南台科技大での文化体験プログラムです。基本的に午前は中国語の勉強をし、午後は陶芸や原住民族ダンス、藍染めといった台湾の様々な文化を学ぶ活動や、フィールドトリップに参加します。

プログラム参加者の声

プログラムには、日本の他に韓国、ベトナム、フィリピン、タイの学生も参加していました。どの国の学生もみんなフレンドリーで、環境にすぐに馴染むことができました。基本的に毎日、中国語の授業が半日あり、残り半日で文化体験や観光をしました。中国語の授業では、私は中国語が全く理解できなかったため、基礎から学びました。文化体験では、藍染めや陶芸をしたり、台湾の民族ダンスを踊ったり、小籠包を作ったりしました。また、バスで台南や台中を観光しました。2週間で様々な体験をすることができましたが、何より素晴らしい出会いに恵まれて、最終日には泣きながら抱き合っていて、別れを惜しみながら帰国しました。本当にこのプログラムに参加してよかったです。

(情報ネットワーク学科2年女子 2017年当時)



語学研修・文化体験プログラム（2016年度）（派遣）

2016年度 語学研修プログラムの概要

派遣先		オーストラリア メルボルン	オーストラリア ブリスベン・ゴールドコースト	カナダ バンクーバー	フィリピン セブ	中国 上海	
機関種別		協定大学		語学学校		協定大学	
機関名		Swinburne University of Technology		Browns English Language School	Canadian College of English Language	New type International Language School (NILS)	同済大学
夏実施	時期	8月16日～9月11日		8月～9月		実施なし	
	期間	27日間		週単位で設定可			
春実施	時期	実施なし		2017年2月～3月		2017年3月	
	期間			週単位で設定可		約2週間	
内容		語学研修(英語) 学生交流		語学研修(英語)		語学研修 (中国語)	
宿泊形態		ホームステイ		ホームステイ	学生寮	学生寮	
単位認定		あり（2単位）※ただし一定の条件を満たすこと					

2016年度 文化体験プログラムの概要

派遣先	タイ バンコク	韓国 大田広域市
機関種別	協定大学	
機関名	泰日工業大学	大田大学校
実施時期	8月25日～9月6日	8月13日～31日
日数	13日間	19日間
内容	タイ文化学習 学生交流 文化体験	韓国語学習 学生交流 文化体験 ホームステイ体験
宿泊形態	ホテル	大学寮
単位認定	なし	

語学研修

オーストラリア（メルボルン）

プログラム種別	語学研修（大学機関）
受入機関名	Swinburne University of Technology（スインバン工科大学）
参考 URL	http://www.swinburne.edu.au/college/english-language-courses/
期間	2016年8月16日～9月11日（27日間）

プログラム紹介

ビクトリア州メルボルンにあるスインバン工科大学での、英語を集中特訓するプログラムです。同大学はメルボルン中心部から電車で10分程度、周辺には商店やレストランが並ぶ、生活に便利な場所にあります。参加者一人につき、バディが一人つき、学習面や生活面のサポート、メルボルン市内の案内などを担当してくれます。また、課外活動として、自然公園やグレートオーシャンロードなどの観光名所を巡るツアーが含まれています。

プログラム参加者の声

オーストラリアの研修ではたくさんのことを学びましたが、特に感じたことは、英語力の向上のためには英語を積極的に話すことが大切だということです。私は市街地に行って、多くの人々と話すよう努力したり、大学内にあるジャパニーズクラブに参加しました。ジャパニーズクラブの皆さんは、私が上手く英語で表現できなくても、言いたいことを理解してくれた上で、間違いを指摘してくれました。

（電気電子システム工学科2年男子 2016年当時）



オーストラリア（ブリスベン／ゴールドコースト）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	Browns English Language School （ブラウنز イングリッシュ ランゲージ スクール）
参考 URL	https://brownsenglish.edu.au/
期間	8月～9月、2月～3月（週単位で変更可）

プログラム紹介

クイーンズランド州ブリスベンとゴールドコーストにある語学学校での英語プログラムです。授業は、実際に英語を使用する場面（仕事、旅行、等々）を想定したレッスンを行う「CORE」クラス、読み・書き等の各能力を集中的に高める「Atcive8」クラス、自習の「Accelerate」クラスの、計3種類です。クラスは6レベルに分けられるので、自分の実力にあったクラスで無理なく英語力を伸ばすことができます。

プログラム参加者の声

学内には色々な国から来た学生がいて、英語を使って彼らと話すことができました。また、ホストファミリー宅にはコロンビア出身のホームメイトがいて、お互いの家族のことや自国での生活について語り合うことができました。この語学研修では、英語で会話する力が向上しただけでなく、他国の文化への理解を深めたり、様々な友人たちとの思い出を多く作ることができました。

[工学部2年男子 2016年当時]



カナダ（バンクーバー）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	Canadian College of English Language (CCEL)
参考 URL	http://www.ccel.jp/jp/
期間	8月～9月、2017年2月～3月（週単位で変更可）

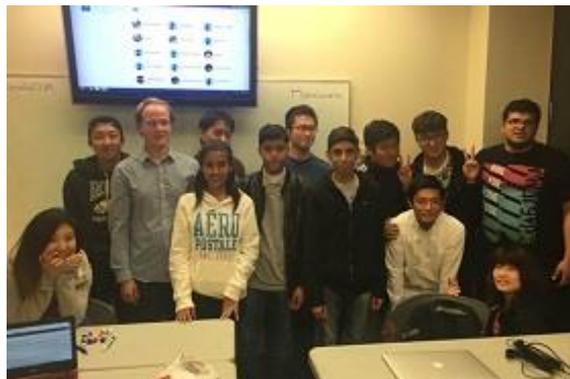
プログラム紹介

ブリティッシュコロンビア州の最大の都市、バンクーバーにある語学学校での英語プログラムです。授業は、4技能（読み、書き、聞き、話し）などを総合的に伸ばす総合クラスと、特定のトピックを自分で選んで集中的に学ぶ選択クラスがあります。CCELが独自に開発した教材は、学生自身のノートPCで閲覧でき、授業だけでなく、復習する際にも活用できます。初日のテストによって、7つのレベルに分けられるため、自分の英語力に即した授業を受けることができます。

プログラム参加者の声

語学学校の授業では、先生がユニークで、とても楽しく英語の知識を身に付けることができました。学校内には英語のみ話すことができるというルールがありましたが、おかげで休み時間に色々な国の人と英語で話すことができ、会話力やリスニング力を向上させることができました。また、現地でできた友達とは今も Facebook でつながっていて、英語で連絡を取り合っています。

(電子情報通信工学科 2 年男子 2016 年当時)



フィリピン (セブ)

プログラム種別	語学研修 (語学学校)
受入機関名	New type International Language School (NILS)
参考 URL	http://www.nilsph.com/
期間	8 月～9 月、2 月～3 月 (週単位で変更可)

プログラム紹介

セブにある語学学校での、英語プログラムです。学校の所在地である「IT パーク」は、セブにおけるビジネスの中心地であり、生活の便利さと安全さを兼ね備えています。レッスンは先生とのマンツーマン形式で行われるため、自分に合ったペースで英語学習を進めていくことができます。授業は、Special クラス 4 科目 (ビジネス英語や各種英語検定対策)、ESL クラス 10 科目 (読み、書き、聞き、話し、文法など) から自由に選択することができます。

プログラム参加者の声

語学研修に参加することで、自分にどのような力が不足しているかが分かりました。

リスニングについては、研修開始当初、なかなか相手の言っていることが理解できず、語学学校では先生に何度も聞きなおしました。スピーキングについては、発音が上手くないため、先生に何度も聞き返されました。また、質問に対してすぐに英語で答えることができず、英文構成力と語彙力が足りないことを痛感しました。

(電気電子システム工学科 2 年男子 2016 年当時)



中国（上海）

プログラム種別	語学研修（大学機関）
受入機関名	同済大学
参考 URL	http://www.tongji.edu.cn/english/
期間	2017 年 3 月 5 日～3 月 18 日（14 日）

プログラム紹介

本学の協定校である同済大学の国際交流学院で、英語による中国語授業を受講します。また、日本語学部の学生との交流を通じて、中国の文化等を学びます。経済大国として発展が著しい同国の現状を知ることにより、世界的な視野でわが国を考える機会になることが期待できます。

プログラム参加者の声

今回の研修では、主に他の外国人留学生と共に中国語授業を受講しました。授業に堅苦しきはなく、全員が楽しそうに授業を受け、疑問点はすぐに質問することが印象的で、日本で授業を受けている時とは違うなと感じました。今回の研修を通じて、グローバルな人材になるためには何が足りないのかを実感しました、今後はそれを補えるように、これからの学生生活に励んで行きたいと思っています。

（工学部 3 年男子 2016 年当時）



文化体験プログラム

タイ（バンコク）

プログラム種別	文化体験
受入機関名	泰日工業大学
参考 URL	http://www.tni.ac.th/web/tni2014-jp/
期間	2016 年 8 月 25 日～9 月 6 日（13 日）

プログラム紹介

首都バンコクにある、本学の協定校である泰日工業大学での文化体験プログラムです。同大学で日本語を学ぶ学生との交流や、小学校、日系企業訪問、ホームステイなどの活動を通じ、タイの文化や歴史を学ぶことができます。

プログラム参加者の声

タイの学生との交流では数えきれないほど得たことがありました。たくさんの学生が日本語で声をかけてくれ、流暢な人もそうでない人も、みんな堂々と話していました。日本との違いに非常に驚きました。この積極性は何としても見習って絶対に身につけたいです。

現地でサポートしてくれたバディとは、最初は意思疎通も完璧にはできず、文化も違うため、互いに理解できず苦労したことも多かったです。様々な手段を駆使してサポートしてくれ、最後にはとても仲良くなれました。感謝の気持ちでいっぱいです。

私は1年生の夏という大学生活の中で比較的早い時期に参加しましたが、今参加できて本当によかったと思います。タイでの体験、出会い、思い出。わたしは一生の宝物を得ることができました。

(機械工学科1年女子2016年当時)



韓国（大田広域市）

プログラム種別	文化体験
受入機関名	大田大学校
参考 URL	http://www.dju.ac.kr/foreign/japan/
期間	2016年8月13日～8月31日（19日間）

プログラム紹介

韓国の大田(テジョン)広域市にある、本学協定校の大田大学校での文化体験プログラムです。日本語学科の学生が、現地での活動をサポートしてくれます。ホームステイ、基礎韓国語の勉強、テコンドー体験や料理作りなど、様々な活動を通じて、韓国の文化や歴史を学ぶことができます。

プログラム参加者の声

韓国では、そこが外国だということを忘れてしまうくらいに何不自由なく過ごせました。現地の学生は日本語が上手で、とても優しく、韓国語のわからない私たちにも気さくに話しかけてくれました。もう少し韓国語を勉強して行けばよかったと思います。私たちは韓国語で答えることも困難でしたが、日本人なのに日本について知らないことが多く、日本語で答えることもあまりできませんでした。

このプログラムを機に、改めて日本語や日本の文化について勉強しようと強く思いました。次に韓国の皆さんとお会いしたときに、日本について多くのことを韓国語で教えてあげることが今の私の目標です。

(建築学科3年女子2016年当時)



語学研修・文化体験プログラム（2015年度）（派遣）

語学研修

アメリカ（テキサス）

プログラム種別	語学研修（大学機関）
受入機関名	Angelo State University（アンジェロ州立大学）
参考 URL	https://www.angelo.edu/dept/elli/
期間	8月23日～9月10日

プログラム紹介

テキサス州サンアンジェロにある、アンジェロ州立大学にて、英語を集中的にトレーニングするプログラムです。同大学は、アメリカの有名な大学調査機関「Princeton Review」にて、アメリカ国内の「Best 379 Colleges」「Best Western 124 Schools」にランキング入りしています。滞在先はキャンパス内のドミトリーのため、安全な環境で勉強に集中することができます。また、参加者一人につき、一人のバディがつきます。バディは英会話練習の良い相手となる他、学習面や生活面での心強いサポート役となってくれます。さらに、近隣の都市サンアントニオやサンマルコスへの旅行など、各種課外活動も含まれています。

2015年度プログラム参加学生の感想

現地で体験したことの中で最も難しかったのは、英語で自分の言いたいことを思い通りに言えないことでした。また、アフリカ系アメリカ人が話す言葉はとても難しく、聞き取りにくかったです。エレベーターの中で彼らに話しかけられたとき、何を言っているのか理解できなかったのも、とても悔しかったです。もっと英語を勉強しないといけないと感じました。

（情報学部3年男子 2015年当時）



オーストラリア（メルボルン）

プログラム種別	語学研修（大学機関）
受入機関名	Swinburne University of Technology（スウィンバン工科大学）
参考 URL	http://www.swinburne.edu.au/college/english-language-courses/
期間	8月25日～9月13日

プログラム紹介

ビクトリア州メルボルンにあるスインバン工科大学での、英語を集中特訓するプログラムです。同大学はメルボルン中心部から電車で10分程度、周辺には商店やレストランが並ぶ、生活面で非常に便利な場所にあります。参加者一人につき、バディが一人つき、学習面や生活面のサポート、メルボルン市内の案内などを担当してくれます。また、課外活動として、自然公園やグレートオーシャンロードなどの観光名所を巡るツアーが含まれています。

2015年度プログラム参加学生の感想

オーストラリアの景観は、グレートオーシャンロードや、駅や図書館といった街並みなど、日本と全く違っており、圧倒されました。コミュニケーションについては、私はクラスメイト、先生、ホストファミリーなどにうまく説明できず、話すことを躊躇してしまうことがありましたが、クラスメイトは授業中に積極的に質問を投げかけており、同じレベルのクラスメイトでも、コミュニケーション力に違いを感じました。



(工学部1年男子 2015年当時)

オーストラリア（ブリスベン／ゴールドコースト）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
受入機関名	Browns English Language School (ブラウنز イングリッシュ ランゲージ スクール)
参考 URL	https://brownsenglish.edu.au/
期間	3週間（週単位で変更可）

プログラム紹介

クイーンズランド州ブリスベンとゴールドコーストにある語学学校での英語プログラムです。授業は、実際に英語を使用する場面（仕事、旅行、等々）を想定したレッスンを行う「CORE」クラス、読み・書き等の各能力を集中的に高める「Active8」クラス、自習の「Accelerate」クラスの、計3種類です。クラスは6レベルに分けられるので、自分の実力にあったクラスで無理なく英語力を伸ばすことができます。

2015 年度プログラム参加学生の感想

私はこれまで、ミスをすることを恐れて、英語を積極的に話せませんでした。しかし、私の先生やクラスメートは、とても親切で、私も気軽に英語で会話できるようになりました。ゴールドコーストでの生活は、とても素晴らしいものでした。サーフィンや遊園地、買い物など、語学学校で出会った様々な国からの友達と一緒に楽しみました。

(工学部 2 年男子 2015 年当時)



カナダ (バンクーバー)

プログラム種別	語学研修 (語学学校)
受入機関名	Canadian College of English Language (CCEL)
参考 URL	http://www.ccel.jp/jp/
期間	3 週間 (週単位で変更可)

プログラム紹介

ブリティッシュコロンビア州の最大の都市、バンクーバーにある語学学校での、英語プログラムです。授業は、4 技能 (読み、書き、聞き、話し) などを総合的に伸ばす総合クラスと、特定のトピックを自分で選んで集中的に学ぶ選択クラスがあります。CCEL が独自に開発した教材は、学生自身のノート PC で閲覧でき、授業だけではなく、復習する際にも活用できます。初日のテストによって、7 つのレベルに分けられるため、自分の英語力に即した授業を受けることができます。

2015 年度プログラム参加学生の感想

カナダに到着した当初は、ホストファミリーや先生の言うことが理解できませんでしたが、1 週間後には何を言っているか分かるようになりました。クラスメイトとも会話やゲームなどを通してコミュニケーションが取れるようになりました。以前は英語の発音も文法も自身がなく、英語で皆の前で自分の意見を言うのが苦手でしたが、少人数で発言の機会が多く与えられる授業のおかげで、それができるようになりました。

(工学部 3 年女子 2015 年当時)



フィリピン（セブ）

プログラム種別	語学研修（語学学校）
国名	フィリピン
受入機関名	New type International Language School （NILS, ニルス）
参考 URL	http://www.nilsph.com/
期間	3 週間（週単位で変更可）

プログラム紹介

セブにある語学学校での、英語プログラムです。学校の所在地である「IT パーク」は、セブにおけるビジネスの中心地であり、生活の便利さと安全さを兼ね備えています。レッスンは先生とのマンツーマン形式で行われるため、自分に合ったペースで英語学習を進めていくことができます。授業は、Special クラス 4 科目（ビジネス英語や各種英語検定対策）、ESL クラス 10 科目（読み、書き、聞き、話し、文法など）から自由に選択することができます。

2015 年度プログラム参加学生の感想

今まで海外へ行ったことがなく、パスポート取得や航空券手配など、渡航準備は時間がかかりましたが、何事もよい経験となりました。現地での初めの数日間は、伝えたいことが頭に浮かんでも、話そうとすると緊張してなかなか会話ができませんでした。しかし、片言ではありますが一生懸命会話しようとし続けたところ、英語を話す緊張がなくなり、会話を円滑に進めることや、困ったときに対応できるようになりました。

（情報科学部 2 年男子 2015 年当時）



中国（上海）

プログラム種別	語学研修（大学機関）
受入機関名	同济大学
参考 URL	http://www.tongji.edu.cn/english/
期間	2016 年 3 月 6 日～3 月 19 日（14 日）

プログラム紹介

本学の協定校である同济大学の国際交流学院で、英語による中国語授業を受講します。また、日本語学部の学生との交流を通じて、中国の文化等を学びます。経済大国として発展が著しい同国の現状を知ることにより、世界的な視野でわが国を考える機会になることが期待できます。

2015 年度プログラム参加学生の感想

クラスには様々な国から学生が集まっているので、基本的な会話は英語です。私は中国語でのコミュニケーションは少し可能ですが、英語はまだ理解不足であり、学内のやりとりに苦労しました。しかし、なんとか気持ちを伝えようと試行錯誤する私の姿を見て、他の学生も理解しようと努力してくれました。

(工学部 3 年男子 2016 年当時)



文化体験プログラム

韓国（大田広域市）

プログラム種別	文化体験
受入機関名	大田大学校
参考 URL	http://www.dju.ac.kr/foreign/japan/
期間	2015 年 8 月 12 日～8 月 31 日 (20 日)

プログラム紹介

韓国の大田市にある、工大の協定校である大田(テジョン)大学校での文化体験プログラムです。日本語学科の学生が、現地での活動をサポートしてくれます。ホームステイ、基礎韓国語の勉強、テコンドー体験や料理作りなど、様々な活動を通じて、韓国の文化や歴史を学ぶことができます。

2015 年度プログラム参加学生の感想

大田には緑が多く、大学の周りは山ばかりでした。ソウルのように街が慌ただしくなく、非常に暮らしやすい街でした。文化体験ではテコンドー、伝統的なサムルノリ、韓国の料理を作りました。韓国語の授業では、文法、会話を中心に勉強しました。文化授業では昔の韓国を勉強し、今の韓国しか知らない私にとっては韓国の歴史を知るいい機会でした。

(工学部 2 年男子 2015 年当時)

